

平成 28 年度  
菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
進捗状況報告書

---

平成 29 年 7 月



# 目次

## 第1編 総論

---

- 1 菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要……………1
- 2 菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系……………2
- 3 菊川市の人口動向……………4
- 4 菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の達成状況と評価……………6

## 第2編 基本事業

---

- 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち……………14
  - (1)子育て・教育環境の更なる充実……………15
  - (2)都市拠点の強化とプライスレスな体験のあるまち……………24
  - (3)シティプロモーションの実施……………28
- 2 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち ……31
  - (1)郷土愛を育むまち……………32
  - (2)「働く場」と「出会い」があるまち……………34
  - (3)アクセスの良さを活かした住環境の整備……………41
  - (4)自己実現できるまちづくり……………45
- 3 時代を先取る菊川型農業モデルの創出……………48
  - (1)儲かる次世代農業モデル……………49
  - (2)農業女子が輝ける菊川プロジェクト……………55

# 第1編 総論

---

# 平成28年度 菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況報告書

## 1 菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

### (1) 菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成26年11月に成立した「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、市では人口減少や急速な少子高齢化に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、将来にわたって活力ある社会を維持していくことを目的として、「菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

### (2) 菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の構成と進捗管理

菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、3つの基本目標と9つの基本施策により構成されています。各基本目標及び基本施策には数値目標を設定し、進捗管理を行っています。

### (3) 本報告書の構成

本報告書では菊川市の近年の人口動向及び基本目標に設定されている5つの基本指標と、基本施策に設定されている14の重要業績評価指数（KPI）について掲載し、菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けられる全ての事業について、今後の展開を記載しています。

## 2 菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系

菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略は3つの基本目標と9つの基本施策で構成されており、それぞれに基本事業(全21事業)が設定されています。

### 基本目標1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち

#### 基本施策

- (1)子育て・教育環境の更なる充実
- (2)都市拠点の強化とプライスレスな体験のあるまち
- (3)シティプロモーションの実施

#### 基本事業

- (1)-①若年者への結婚出産の啓発
  - ②子育て支援体制の充実
  - ③子育て世帯への経済支援
  - ④ニーズに合わせた子育て情報の発信
  - ⑤教育環境の充実
- (2)-①地域資源を活かした交流の推進
  - ②駅周辺のまちづくりの推進
- (3)-①知名度向上戦略の展開

### 基本目標2 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち

#### 基本施策

- (1)郷土愛を育むまち
- (2)「働く場」と「出会い」があるまち
- (3)アクセスの良さを活かした住環境の整備
- (4)自己実現できるまちづくり

#### 基本事業

- (1)-①若者の郷土愛を育む
- (2)-①新企業の進出促進・創業の支援
  - ②U・Iターン者、女性、高齢者にむけた多様な就労環境の創出
  - ③婚活支援
- (3)-①子育て世代や若者の定住促進
- (4)-①若者・女性・高齢者が活躍できる地域づくり
  - ②健康寿命の延伸

### 基本目標3 時代を先取る菊川型農業モデルの創出

---

#### 基本施策

- (1) 儲かる次世代農業モデルの推進
- (2) 農業女子が輝ける菊川プロジェクト

#### 基本事業

- (1)-① 付加価値の高い農業モデルの創出
  - ② 農産物のブランド化
  - ③ 高収益作物との複合経営の推進
  - ④ 耕作放棄地化の未然防止
- (2)-① アグリ姫プロジェクト
  - ② 女性が働きやすい環境整備

### 3 菊川市の人口動向

#### (1) 人口推移について

平成 27 年度に実施した国勢調査結果によると、菊川市の人口は 46,763 人となり、平成 22 年度の 47,041 人から 278 人減少しました。しかし、国立社会保障人口問題研究所の推計人口である 46,300 人を 463 人上回る結果となりました。

#### (2) 人口構成について

平成 28 年度末(平成 29 年 3 月 31 日)時点での菊川市の人口構成について、年少人口率はほぼ横ばいですが、生産年齢人口率は低下、老年人口率は上昇傾向にあります。

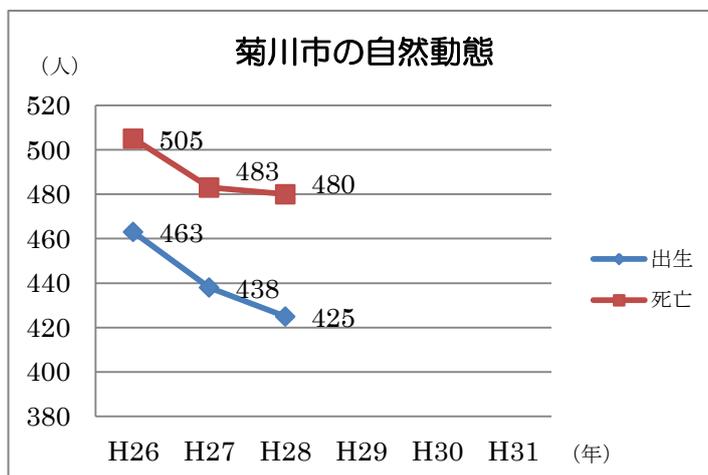


出典：菊川市住民基本台帳  
(各年 3 月 31 日)

### (3) 自然動態について

平成 28 年度の出生数は 425 人、死亡数は 480 人であり、合計すると 55 人の自然減少が起きています。平成 27 年度は 45 人の自然減少であり、自然減少傾向が続いています。

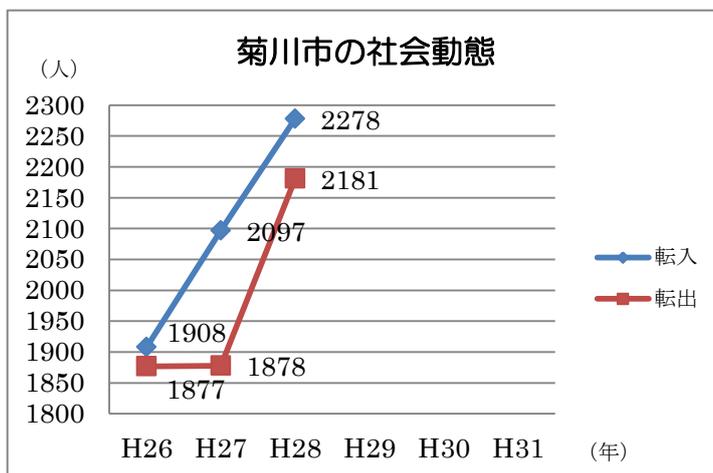
出生	425 人
死亡	480 人
自然動態	▲55 人



### (4) 社会動態について

平成 28 年度の転入数は 2,278 人、転出数は 2,181 人であり、合計すると 97 人の社会増加が起きています。平成 27 年度は 219 人の社会増加であり、社会増加傾向が続いています。

転入	2,278 人
転出	2,181 人
社会動態	97 人



### (5) 平成 28 年度の人口増減について

自然動態	社会動態	その他※	合計
▲55 人	97 人	▲38 人	4 人

※その他には職権消除等が含まれる

## 4 菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の達成状況と評価

### (1) 基本指標

基本目標に設定されている5つの基本指標について、達成状況と評価を報告します。達成状況は、平成31年度の目標に対し平成28年度の実績を表しています。ただし、5年間の累計値を目標とする指標については、評価年度までの実績の累計値と目標の累計値により達成状況を表します(目標についてはH28実績欄内に※で記載)。

なお、難易度及び評価の凡例については以下の通りです。

#### 難易度

低：行政が実施する事業の進捗度合いを示す、比較的コントロールしやすい指標

中：行政が実施する事業により、ある程度コントロールできる指標

高：社会・経済情勢に大きく影響され行政がコントロールできない(非常にしにくい)指標

評価 △：難航または課題あり ○：概ね順調 ◎：順調

①難易度 低・中 達成状況 90%未満=△、90%以上~110%未満=○、110%以上=◎

②難易度 高 達成状況 80%未満=△、80%以上~100%未満=○、100%以上=◎

### 基本目標1

### 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち

基本指標	基準値	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H28 実績	達成 状況	難易 度	H28 評価
合計特殊出生率	1.66% (H26)	1.76% (H31)	—	— ※1	—	—		—	—	高	—
出生数	2,030人 (H22-26累計) ※406人/年	1,955人 (H27-31累計) ※391人/年	438人	425人				863人 (27-28累計) ※目標782人	110%	高	◎

※1 市区町村の合計特殊出生率は5年ごとに公表されるため算出不可

### 基本目標2

### 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち

基本指標	基準値	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H28 実績	達成 状況	難易 度	H28 評価
若年層(20~24歳)の転出超過の抑制	▲169人 (H21-26比較)	▲118人 (H27-31比較)	—	— ※2	—	—		—	—	高	—
転入超過数	324人 (H23-26累計) ※81人/年	525人 (H27-31累計) ※105人/年	219人	97人				316人 (27-28累計) ※目標210人	150%	高	◎

※2 H27時点の対象者とH31時点の対象者を比較するため算出不可

### 基本目標3

### 時代を先取る菊川型農業モデルの創出

基本指標	基準値	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H28 実績	達成 状況	難易 度	H28 評価
市内への新規参入 農業者	1人 (H26)	8人 (H27-31 累計) ※27~29:1人/年 30:2人、31:3人	1 人	6 人				7人 (27-28 累計) ※目標2人	350%	低	◎

## (2) 重要業績評価指数(KPI)

基本施策に設定されている14の重要業績評価指数(KPI)について、達成状況と評価を報告します。達成状況は、平成31年度の目標に対し平成28年度の実績を表しています。ただし、5年間の累計値を目標とする指標については、評価年度までの実績の累計値と目標の累計値により達成状況を表します(目標についてはH28実績欄内に※で記載)。

なお、難易度及び評価の凡例については以下の通りです。

### 難易度

低：行政が実施する事業の進捗度合いを示す、比較的コントロールしやすい指標

中：行政が実施する事業により、ある程度コントロールできる指標

高：社会・経済情勢に大きく影響され行政がコントロールできない(非常にしにくい)指標

評価 △：難航または課題あり ○：概ね順調 ◎：順調

①難易度 低・中 達成状況 90%未満=△、90%以上~110%未満=○、110%以上=◎

②難易度 高 達成状況 80%未満=△、80%以上~100%未満=○、100%以上=◎

## 基本目標1

## 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち

### 基本施策① 子育て・教育環境の更なる充実

No	重要業績評価指数	基準値	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H28 実績	達成 状況	難易 度	H28 評価
①	授業がわかると思う子どもの割合	88.0% (H26)	90.0%以上 (H31)	89.1 %	89.2 %				89.2%	99%	中	○
②	「安心して子どもを育てられるまち」の回答に占める「不満・やや不満」だと思う人の割合	14.4% (H26)	14.0%以下 (H31)	13.7 %	12.9 %				12.9%	108%	高	◎
③	第2子以降の出生数	1,110人 (21-25累計) ※222人/年	1,090人 (27-31累計) ※218人/年	225 人	235 人				460人 (27-28累計) ※目標436人	105%	高	◎

本市における子育て支援・教育施策を充実させることで市民満足度を高めるとともに、出生率の向上に取り組む。

市内全小中学校へタブレット型端末を整備し先進的な教育環境を整えた。同時に教員がICT機器を活用し指導できるよう、研修会の実施などスキルアップの場を設けている。指標①については、引き続き高い水準を維持しており、順調に推移している。

子どもを産み、育てながら働ける環境づくりのため、認定こども園への移行について検討するなど待機児童の解消に向け取り組んだ。また、一時保育等の利便性向上や妊娠出産時ホームヘルプサービスの利用補助を実施するなど、子育て支援施策の充実を図った。情報支援として子育て応援サイトの充実や子育てアプリの開発を実施し、支援が必要な方に情報が届く仕組みの構築も進めた。これら取り組みの成果もあり、指標②については順調に推移している。平成27年度から開始した新生児出産祝金事業や、段階的に拡充する多子世帯への保育施設の利用負担軽減により、2人以上の子どもがいる家庭に対する支援策の拡充を図った。指標③についても順調に推移している。

### 基本施策② 都市拠点の強化とプライスレスな体験のあるまち

No	重要業績評価指数	基準値	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H28 実績	達成 状況	難易 度	H28 評価
④	観光交流客数	321,392人 (H26)	1,620,000人 (27-31累計) ※324,000 人/年	364,388人	11月 確定				364,388人 (H27) ※目標 324,000人	112% (H27)	中	◎

市外から人を呼び込む魅力的なイベントの開催に取り組むとともに、菊川駅北地域の将来構想づくりを進める。

市民力を活かしたイベントの開催や、茶摘み・野菜収穫体験などを含む地域資源を活かした体験事業を開催し、交流人口拡大に努めた。また、駅北構想については、市民ニーズの把握や民間企業への需要調査を実施し、構想案を作成した。指標④について、現状平成27年度の実績のみではあるが目標を達成している。しかし、富士山静岡空港を利用する外国人観光客の増加など、外的要因による増加も含まれていると予想されるため、個別事業についてはさらなる改善に努める。

### 基本施策③ シティプロモーションの実施

No	重要業績評価指数	基準値	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H28 実績	達成 状況	難易 度	H28 評価
⑤	菊川市を知っている人の割合	63.8% (H27)	90.0% (H31)	63.8%	64.0%				64.0%	71%	高	△
⑥	ホームページの魅力紹介ページのアクセス数(PV)	ページなし	100,000PV (H31実績)	2379 PV(2 カ月)	12175 PV				12,175PV	12%	中	△

本市の魅力地域内外に効果的に発信し、知名度向上に取り組む。

「しあわせのわきくがわ」をキャッチフレーズとしたテーマトレインやインターネット広告の実施、TVCMの放送など、本市の情報を目にする機会を増やし認知を獲得する取り組みを実施した。また、菊川の教育親子見学ツアーの一つとして取り組みを始めた「農学芸スクール事業」について、東京・名古屋の小学生親子が参加する農業体験ツアーの企画や、首都圏での販売・移住セミナー等を実施し、菊川の教育や居住環境の良さなどをPRした。

指標⑤⑥については、広く情報発信を続けるのではなく、魅力的なコンテンツを創り上げることや、ターゲットを絞った情報発信により認知を獲得する必要がある。特に⑥については、特定の部署のみの取り組みではなく、全庁的な取り組みを実施していく必要があるため、職員の意識改革に努め目標達成に向け取り組みを進める。

## 基本目標2

## 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち

### 基本施策① 郷土愛を育むまち

No	重要業績評価指数	基準値	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H28 実績	達成 状況	難易 度	H28 評価
⑦	将来菊川市に住みたいと思う高校生の割合	20.1% (H26)	50.0% (H31)	26.8 %	43.7 %				43.7%	87%	中	△

中高生などの若者が地域の良さを認識し、地域づくりに主体的に参加するなど、郷土愛を育む機会を設け、将来地域で活躍する人材の育成に取り組む。

市内3中学校において地元企業や団体、行政等が参加する説明会を実施。中学生が地元企業について学び、自身のキャリアについて考えるきっかけづくりとなった。

また、市内の高校と連携し、人口減少問題について生徒が研究し解決案の作成を行う「高校生ふるさとセミナー」事業を実施し、その成果を「高校生まちづくりプレゼンテーション大会」において、市長以下幹部職員、総合計画審議会委員、大学教授、金融機関などの来賓に対し発表した。

指標⑦について、上昇しているが目標達成には至っていない。今後もより効果的な事業の組み立てについて引き続き検討・実施していく。

### 基本施策② 「働く場」と「出会い」があるまち

No	重要業績評価指数	基準値	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H28 実績	達成 状況	難易 度	H28 評価
⑧	事業所数	1,853 事業所 (H26)	1,860 事業所 (H31)	1876 事業所	1840 事業所				1,840 事業所	98%	中	○
⑨	婚姻数	2,790 組 (22-26 累計) ※558 組/年	2,810 組 (27-31 累計) ※562 組/年	547 人	539 人				1,086 組 (27-28 累計) ※目標 1,124 人	96%	高	○

「働く場」の創出により転入やU・Iターンの増加を図る。また、「出会い」の創出により婚姻数増加を目指す。

市内外への企業訪問及び継続的な情報提供により事業所・企業等の新規立地を図った。また創業支援計画に基づき希望者の支援を開始した。就業支援については、子育て中の方でも気軽に参加できるよう休憩スペースや子供が遊べるスペースを設けた「なでしこワーク」の開催や女性就労・就業支援事業等を実施した。指標⑧について、企業を誘致できる場所が限られるため企業導入用地の検討や、創業支援など「働く場」の創出について検討を進める。

出会いの場の創出として、市主催の婚活イベントを開催。88人の参加者から17組のマッチングが成立した。指標⑨について、行政の実施する事業のみではなく、社会・経済情勢の影響を多分に受けるため楽観はできないが、順調に推移している。本市としては子育て支援策や出会いの場の創出など、婚姻数増加に向け引き続き各事業を推進する。

基本施策③ アクセスの良さを活かした住環境の整備												
No	重要業績評価指数	基準値	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H28実績	達成状況	難易度	H28評価
⑩	住宅取得補助制度の利用件数	制度無し	240件 (28-31累計) ※60件/年	制度制定	30件				30件 (H28) ※目標60件	50%	低	△

鉄道駅や高速道路ICなど交通利便性の高さを活かし、住みやすい、住んでみたいと思わせるまちづくりを進める。

不動産事業者と情報交換を行い効果的な住宅情報の提供方法について検討を進めた。また、若者世帯定住促進補助制度に基づき、対象者に住宅取得費用の一部を補助するなど、新たに住宅取得を検討する世帯に菊川市を選択してもらえるよう取り組みを進めた。

指標⑩については、制度創設初年度であり、補助対象条件の一つである、「取得した住宅が、平成28年4月1日以降の契約（注文住宅の場合は工事請負契約、建売又は中古住宅の場合は売買契約）に基づくもの。」という条件で対象から外れる人が多くいたため、申請件数が伸びなかった。今後は、対象者となる世帯への制度周知や、より多くの方に居住地として菊川市を選択してもらえるようなPR方法について検討を進める。また、制度を利用した方へのアンケート調査を実施するなど、実態把握に努める。

基本施策④ 自己実現できるまちづくり												
No	重要業績評価指数	基準値	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H28実績	達成状況	難易度	H28評価
⑪	65歳以上人口に占める要支援・要介護認定者の割合(%)	16.98% (H31)	16.90% 以下(H31)	14.52%	13.78%				13.78%	122%	中	◎

心身共に健康で、自身のやりたいことが実現できるまちづくりを目指す。

市民活動の活性化と市民協働の推進を目標に、菊川市市民協働センターを設置し、様々な市民活動に対する支援を開始した。目標をはるかに上回る相談があり、周知・利活用についてよいスタートを切れた。

ロコモティブシンドロームを予防し、健康のための一歩を踏み出すため、ロコモ予防教室を開催。市民が自主的に活動を続ける自主グループに発展するよう、介護予防の重要性を伝えながらサポートを実施した。指標⑪について、順調に推移しているが、本指標は上昇を抑える目標としているため、今後も状況を分析し事業の改善に努める。

## 基本目標 3

## 時代を先取る菊川型農業モデルの創出

### 基本施策① 儲かる次世代農業モデルの推進

No	重要業績評価指数	基準値	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H28実績	達成状況	難易度	H28評価
⑫	認定農業生産法人の数	16 法人 (H26)	23 法人 (H31)	17 法人	22 法人				22 法人	95%	中	○
⑬	転換作物作付面積	補助制度なし	15ha (H31)	補助制度検討	補助制度制定				補助制度制定	—	低	○

担い手への農地の集積や複合経営の推進、地域特産物の創設（ブランド化）を進め、「儲かる菊川型農業モデル」の確立を目指す。

農地と人のマッチングの仕組みを構築し、規模拡大を目指す農業者へ農地の集積を図る。また、高収益作物との複合経営に向けた知識・技術支援や、地域特産品の開発に係る包括的支援を実施。指標⑫について、積極的な新規法人の受入れ等の成果もあり順調に推移している。今後も、新規就農や法人化に向けた支援を実施し、目標達成に向け事業を進める。

指標⑬について、作物転換に必要な補助制度を制定した。今後は目標の達成に向け周知・活用を促す。

### 基本施策② 農業女子が輝ける菊川プロジェクト

No	重要業績評価指数	基準値	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H28実績	達成状況	難易度	H28評価
⑭	市内への新規参入女性農業者	—	3 人 (27-31 累計) ※H30:1 人、 H31:2 人	0 人	0 人				0 人 (27-28 累計) ※目標 0 人	0%	低	△

女性農業者（農業女子）が働きやすい環境づくりに努め、新たな農業の担い手確保と本市での就農の魅力をアピールする。

農業女子の受け入れ体制や支援制度の構築に向け、支援内容や対象者、募集方法などについて検討する組織を立ち上げた。また、農林大学校や市内で農業に携わっている女性農業者から意見聴取を行い、より効果的な支援について研究を進めた。

指標⑭について、現在は制度の確立に向け準備を進めている段階であるため、実績は出ていない。今後も効果的な取り組みとなるよう検討を進める。

### 【平成 28 年度重要業績評価指数(K P I)評価の集計結果】

評価	平成 28 年度		【参考】平成 27 年度	
	指標数	%	指標数	%
◎	4	28.6%	2	14.3%
○	5	35.7%	8	57.1%
△	5	35.7%	4	28.6%

## **第2編 基本事業**

---

## 基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち

### 基本施策 1

#### 子育て・教育環境の更なる充実

重要業績評価指数	基準値 (H26)	目標値 (H31)
授業がわかると思う子どもの割合	88.0%	90.0%以上
「安心して子どもを育てられるまち」の回答に占める「不満・やや不満」だと思う人の割合	14.4% (H27)	14.0%以下
第2子以降の出生数	1,110人 (H21-25 累計)	1,090人 (H27-31 累計)

#### 基本事業

- ①若年者への結婚出産の啓発 P17
- ②子育て支援体制の充実 P18
- ③子育て世帯への経済的支援 P20
- ④ニーズに合わせた子育て情報の発信 P23
- ⑤教育環境の充実 P25

### 基本施策 2

#### 都市拠点の強化とプライスレスな体験のあるまち

重要業績評価指数	基準値 (H26)	目標値 (H31)
観光交流客数	321,392人	1,620,000人 (H27-31 累計)

#### 基本事業

- ①地域資源を活かした交流の推進 P26
- ②駅周辺のまちづくりの推進 P29

### 基本施策 3

#### シティプロモーションの実施

重要業績評価指数	基準値 (H26)	目標値 (H31)
菊川市を知っている人の割合	63.8% (H27)	90%
ホームページの魅力紹介ページのアクセス数	H27年度に作成	100,000回/年

#### 基本事業

- ①知名度向上戦略の展開 P30

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち

基本施策 1 子育て・教育環境の更なる充実

## 基本事業①

## 若年者への結婚出産の啓発

事業名	No.1 高校生への「こころとからだ」についての出前授業の実施						
担当	企画財政部企画政策課、菊川病院						
事業概要	県の看護協会の出前授業を活用し、高校生に対し助産師から妊娠・出産等についてセミナーを行う。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	実施	実施	実施	実施	
	実績	準備等	実施				
事業指標	指標	出前授業受講者数				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		—	350	350	350	600
	実績	—	—	489			
事業実施結果	<p>市内3高校に通う高校生に対して、「こころとからだ」に関する出前講座を実施し、妊娠・出産に伴う身体的リスクについて正しい知識を学び、自身のキャリアにどう組み込むのかを、社会に出る前に考えるきっかけとした。</p> <p>【小笠高校】高校生キャリアデザインライフプランセミナーを開催 開催日：1月16日、受講者：3年生85人、講師：市立菊川病院看護部長</p> <p>【常葉菊川高校】高校生キャリアデザインライフプランセミナーを開催 開催日：2月28日、受講者：3年生330人、講師：市立菊川病院看護部長、助産師</p> <p>【南陵高校】出生の喜びと命の大切さに関する出前講座を開催 開催日：7月25日、受講者：2年生74人、講師：市立菊川病院助産師</p>						
課題	<p>本事業では、妊娠・出産に伴う身体的なリスクを正しく理解し、自身のキャリアの中にどう組み込むのかを高校生の段階で考えてもらうことを目的としている。ただし、各高校ではそれ以前に望まない妊娠を防ぐための教育も重視しており、どのタイミングで、どのような研修を、どの学年を対象に講座を実施するのか、検討する必要がある。</p>						
今年度の取組み	<p>【小笠高校】静岡県看護協会の出前授業を活用し、1・2年生を対象とした望まない妊娠を防ぐための講座を、6月に菊川病院の助産師が実施予定。また、卒業を前にした3年生を対象としたキャリアデザインライフプランセミナーを平成30年1月頃に開催していく予定。</p> <p>【常葉菊川高校】卒業を前にした3年生を対象としたキャリアデザインライフプランセミナーを平成30年2月頃に開催していく予定。また、その他講座の実施について、協議・検討していく。</p> <p>【南陵高校】出前講座の実施スケジュールや実施内容、対象等について、協議・検討していく。</p>						

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち

基本施策 1 子育て・教育環境の更なる充実

## 基本事業②

## 子育て支援体制の充実

事業名	No.2 認定こども園制度への取組み						
担当	教育文化部幼児教育課						
事業概要	保育園や幼稚園について、認定こども園の可能性を検討するとともに、必要な施設を認定こども園化していく。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	準備等	実施	実施	実施	
	実績	準備等	実施				
事業指標	指標	認定こども園制度への取組み				単位	園数
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		1	2	1	2	1
	実績	0	1	2			
事業実施結果	<p>菊川市立おおぞら幼保園が平成 29 年 4 月から幼保連携型認定こども園に移行するにあたり、試行運営の実施、予算編成、関係条例の制定を完了した。また、おおぞら幼保園（幼保連携型）及び堀之内幼稚園（幼稚園型）への認定こども園化により、おおぞら幼保園は 15 人、堀之内幼稚園では 16 人、計 31 人の受入枠の増員を図った。</p>						
課題	<p>菊川市幼保施設整備計画（基本方針）の見直しにあたり、人口動態や市民ニーズ等を考慮した将来推計を再分析し、幼保施設の今後のあり方を検討する必要がある。また、待機児童解消の取組みとして、認定こども園化の検討と保育士確保に取り組む必要がある。</p>						
今年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度に幼保連携型認定こども園に移行する菊川中央こども園に対して速やかに移行できるよう支援を行う。</li> <li>・市幼保施設整備計画（基本方針）の見直しは、将来推計を再分析し、審議会に諮る。</li> <li>・小笠地域幼稚園・保育園再編を推進し、平成 31 年度からの運営開始を目指すとともに、菊川中央こども園へ認定こども園運営に伴う情報提供や国等の補助制度に合わせた財政支援を行う。</li> </ul> <p>※菊川市立認定こども園 1 園、私立認定こども園 2 園（H29. 4 月現在）</p>						

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち

基本施策 1 子育て・教育環境の更なる充実

## 基本事業②

## 子育て支援体制の充実

事業名	No.3 一時保育等の利便性の向上						
担当	教育文化部幼児教育課						
事業概要	市内保育園で実施しているリフレッシュ・一時保育について、利用者の利便性向上、施設側の受入管理体制の充実、効率的な受付事務の運用を目指す。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	実施	実施	実施	実施	
	実績	検討	実施				
事業指標	指標	リフレッシュ・一時保育の利用件数				単位	件
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		2,040	2,040	2,100	2,150	2,200
	実績	1,996	2,195	1,644			
事業実施結果	市内全 11 保育園（牧之原保育園を含む）の協力をいただき、リフレッシュ・一時保育事業を実施した。保育園には通常園児を定員以上に受入れていただいているため、リフレッシュ・一時保育の利用者の受入が利用者の希望通りにならない状況も見受けられた。また、保育園の行事と重なり、申請があっても受入れていただくことができず、やむを得ずお断りをしたケースもあり、前年度より利用者件数が減少となった。						
課題	園には通常園児を定員以上に園児を受入れていただいている状態もあり、利用者が利用したい日に受入していただける園が不足している。また、平成 29 年度から、利用者ニーズ・園との関わりを考慮し、リフレッシュ・一時保育事業に係る事務を、福祉課から幼児教育課へ移管したが、申請受付は、幼児教育課とけやき内の子育て相談窓口の 2 箇所で行うため、相互の連携・情報共有が必要となる。						
今年度の取組み	リフレッシュ・一時保育事業を縮小することなく継続して行うため、市内保育園に協力依頼を行うとともに、利用者のニーズを調査し事業の方向性を研究する。また、けやき内の子育て相談窓口と連携をとり、円滑な受付事務を行う。						

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち

基本施策 1 子育て・教育環境の更なる充実

### 基本事業③

### 子育て世帯への経済的支援

事業名	No. 4 妊娠出産時ホームヘルプサービスの利用補助						
担当	健康福祉部健康づくり課						
事業概要	産前産後の妊産婦の方が、家事及び育児を支援する事業者が提供するサービスを利用した場合に、その利用料の一部を補助する制度を策定する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	実施	実施	実施	実施	
	実績	準備等	実施				
事業指標	指標	本事業の利用件数				単位	件
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		制度策定	20	20	20	20
	実績	制度無し	制度策定	4			
事業実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菊川市妊娠出産時家庭ホームヘルプサービス利用費補助金交付要綱※を制定した。</li> <li>※体調不良などにより家事や育児を行うことが困難な妊産婦で、家族から援助が受けられない方が、産前、産後に自宅で家事及び育児を支援する事業者が提供するサービスを利用した場合に、その利用料の一部を補助する制度。</li> <li>・妊娠出産時家庭ホームヘルプサービス利用費補助金の事務マニュアルを作成し、手続きの円滑化を図った。また、サービスを必要としている方の把握や制度の周知を実施した。</li> </ul>						
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請数が想定より少なかったため、サービス利用を必要としている人に、タイムリーな情報提供ができるような仕組みが必要。</li> <li>・サービスを提供する事業者によっては、受入れ体制が明確になっていなかったため、事業者に対しても制度を周知していく必要がある。</li> </ul>						
今年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交付要綱、事務マニュアルに基づき、適性かつ円滑な補助金交付を行う。</li> <li>・サービス利用を必要としている人にタイムリーな情報提供を行うため、妊産婦と係わる様々な事業(妊娠届出・プレパパママ教室・赤ちゃん訪問・医療機関でのちらし配布等)を通して、事業の周知を図っていく。</li> <li>・妊産婦の需要やニーズを調査し、より利用しやすい制度となるよう検討を行う。</li> </ul>						

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち

基本施策 1 子育て・教育環境の更なる充実

### 基本事業③

### 子育て世帯への経済的支援

事業名	No.5 教育・保育施設の利用者負担への支援						
担当	教育文化部幼児教育課						
事業概要	「3人以上の子どもが持てる環境」づくりを目指し、多子世帯を対象とした教育・保育施設の利用者負担（保育料）への支援を行う。また、第2子、第3子を対象に実施されている保育料の減免について、条件となる兄弟の年齢枠の緩和による支援策を検討する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	実施	実施	実施	実施	
	実績	検討	実施				
事業指標	指標	多子世帯軽減制度の支援をうける世帯数				単位	世帯
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		—	50	50	100	100
	実績	制度 無し	制度 検討	100			
事業実施結果	平成28年度から実施された国の多子世帯利用者負担額軽減の年収制限を緩和し、教育認定・保育認定の第3子以降利用料について菊川市単独の支援策を行うよう、平成29年度当初予算の計上及び条例改正を行った。軽減内容は、平成29年度については市町村民税所得割額169,000円未満の世帯の年齢制限を撤廃し第3子利用料を無償化、平成30年度からは第3子利用料を全世帯完全無償化とするものである。						
課題	保護者の経済的負担を軽減し、3人以上の子どもを持ちたい市民の希望をかなえることを目的とした事業であるので、今後は対象者の把握や効果の検証をしていく必要がある。						
今年度の取組み	利用者負担額の改正について、広報紙や市ホームページに情報を掲載するとともに、リーフレットを作成して該当者に配布するなど周知に努める。また、平成30年度からの第3子利用料完全無償化に向け対象者の把握等を行い、当初予算に計上する。						

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち

基本施策 1 子育て・教育環境の更なる充実

### 基本事業③

### 子育て世代への経済的支援

事業名	No.6 菊川市新生児出産祝金事業						
担当	健康福祉部福祉課						
事業概要	当市で生まれた第2子以降の新生児に対し、出産祝金を支給する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	実施	実施	実施	実施	実施	
	実績	実施	実施				
事業指標	指標	第2子以降の出生数				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		218	218	218	218	218
	実績	221	225	235			
事業実施結果	<p>・国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)を活用し、平成27年度から当該事業を開始し、平成28年度からは市単独事業として事業実施した。</p> <p>・対象者、支給要件を確認し、適正な給付を実施した(支給件数:223件 支給額:27,300,000円)。また、支給要件確認のための追跡調査も実施した。</p> <p>※支給対象となるのは菊川市に6カ月以上居住している世帯に生まれた2子以降の子で、支給を受けるには今後5年間菊川市に定住する旨の誓約書を提出いただいている(平成28年度は、転出者に対して還付処理(1件100千円)を行った)。</p>						
課題	<p>・本事業を出生率の向上や本市への定住促進につなげるため、より効果的な支給条件について検討する必要がある。</p> <p>・支給を受けた方が5年以内に転出した場合には返還義務が発生するため、被支給者について継続的に追跡調査を行う必要がある。</p>						
今年度の取組み	<p>・本事業を継続実施し、対象者に対して適正な給付を実施する。また、受給者の追跡調査を実施し、継続的に支給要件を確認する。</p> <p>・支給対象者のニーズ等を把握する中で、効果的な支給条件等について検討する。また、子育てアプリなどを活用して事業の周知・PRを行う。</p>						

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち

基本施策 1 子育て・教育環境の更なる充実

基本事業④

ニーズに合わせた子育て情報の発信

事業名	No.7 子育てアプリの開発						
担当	健康福祉部福祉課、健康づくり課						
事業概要	検診等の子育てに役立つ行政情報を発信するスマートフォン用アプリケーションを開発し、運用する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	準備等	実施	実施	実施	
	実績	検討	準備等				
事業指標	指標	子育てアプリダウンロード件数				単位	件
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		機能等 検討	アプリ 開発	300	600	1000
	実績	—	機能等 検討	アプリ 開発			
事業実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉課、健康づくり課、幼児教育課等の子育て担当課を中心に、定期的に打合せを実施し、子育てアプリに掲載する情報や発信方法、効果的な運用方法などについて検討を行った。</li> <li>子育てアプリ構築に係る業務委託（委託料：2,531,520円）を発注し、菊川市子育て応援アプリ「きくすく」※を開発した。また、平成29年4月から配信を開始した。</li> </ul> <p>※「きくすく」は、菊川市で安心して子どもを産み育てることができるよう、市が提供するさまざまな子育て情報を簡単に検索できるほか、住んでいる地域やお子さんの情報を登録すると、各家庭に応じたお知らせや情報を受け取ることができるアプリ。子育て日記には写真や体重、身長等も登録することができ、成長の記録を確認できる。</p>						
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世帯に関わるイベント情報等の掲載内容を常時最新のものに更新し、発信していく必要がある。</li> <li>積極的な周知、啓発に努め、利用者の拡大を図っていく必要がある。</li> </ul>						
今年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該アプリの利用者を増やすため、広報紙等に掲載するとともに市内幼稚園・保育園等に直接出向き、積極的に周知・啓発する。</li> <li>児童館や子育て支援センターが実施するイベント情報等、子育て世帯に関わる情報を随時更新していく。また、常に最新の情報が更新されるよう、庁内の運用体制等について検討していく。</li> </ul>						



基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち

基本施策 1 子育て・教育環境の更なる充実

## 基本事業④

## ニーズに合わせた子育て情報の発信

事業名	No.8 子育て支援に係るホームページ上での総合案内						
担当	総務部秘書広報課						
事業概要	子育て支援に係る情報をまとめ、効率的に情報を提供できるようにし、子育て世代への情報発信を強化する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	準備等	実施	実施	実施	実施	
	実績	実施	実施				
事業指標	指標	菊川ですくすく子育て応援サイト「きくすく」のアクセス数				単位	PV※
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		ページ 作成	7,000	8,000	9,000	10,000
	実績	—	2,253	10,409			
事業実施結果	<p>市ホームページで菊川市における子育て支援情報を検索しやすいよう、子育て新情報をまとめた、『菊川市すくすく子育て応援サイト「きくすく」』について、関係している課へ情報更新を依頼し、内容の充実を図った。また、トップページの写真を入れ替え、サイトのイメージチェンジを行った。</p> 						
課題	サイト自体の認知度を向上させるとともにサイト内の情報を充実させる必要がある。						
今年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係各課へのサイト内の情報更新依頼</li> <li>・子育て応援アプリ「きくすく」との連携（リンク設定）</li> <li>・市公式フェイスブック等による子育て応援サイト「きくすく」のPR</li> <li>・乳幼児健診時等に「きくすく（アプリ・サイト）」のPR</li> </ul>						

※PV (Page Views) : ページビューとは、最も基本的なアクセス数の指標の一つで、Web ページが閲覧された回数を表す。ページ内で参照している画像など外部のファイルの数などには影響されず、Web ページを 1 画面開けば 1 ページビューと数える。

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち

基本施策 1 子育て・教育環境の更なる充実

## 基本事業⑤

## 教育環境の充実

事業名	No.9 ICT を活用した授業の推進						
担当	教育文化部学校教育課、教育総務課						
事業概要	市内全小中学校に ICT 機器を活用した授業を実施できる環境を整備するとともに、教員の ICT 活用能力を高め、授業での ICT 機器の活用を推進する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	実施	実施	実施	実施	実施	
	実績	実施	実施				
事業指標	指標	「授業中に ICT を活用して指導することができる」と回答した教員の割合				単位	%
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	実績	92.5	94.3	94.0			
事業実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校6校 250 台、中学校2校 200 台のタブレット型端末を整備。児童生徒用 iPad や短焦点プロジェクタの配備が全校で整い、各校で ICT 機器を活用した授業改善の取組推進を図ることができた。</li> <li>・岳洋中学校にて、菊川市教育委員会指定研究発表会を行った。市内各校、また市外の教員が参観し、授業での活用方法等を学んだり課題について話し合ったりした。さらに、各校の授業での ICT 活用状況を教科等年間指導計画に入れることで実態を把握することができた。</li> <li>・各校での ICT 活用や授業改善が進んだことにより、91.9%の児童、83.2%の生徒が、「授業がよくわかる」と答えることができた。</li> </ul>						
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT 活用と授業改善が切り離されて考えられている学校もあるので、ICT 機器を活用した授業改善を確認するとともに、研修主任や ICT 推進委員等の連携を深めるような研修の検討や、活用場面や方法についての研修をさらに進める必要がある。また、年度末人事異動により、市外からの教職員(20%)がいるので「授業中に ICT を活用して指導できる」ように ICT 活用に努めてもらい授業改善につなげる。</li> <li>・市利用規程やモデルカリキュラム等について、新任職員も含め年度当初に周知徹底できるよう働きかけを行う。</li> </ul>						
今年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット型端末を活用した授業の推進を図るため、菊川東中学校及び菊川西中学校へ無線 LAN の整備を実施する。</li> <li>・市研修主任研修会や ICT 推進委員会で前年度の研究指定発表や各校での成果と課題について研修を進める。今年度、小笠東小で ICT 活用授業研究成果発表会を行う。また、H29,30 年度は内田小と菊川東中を研究指定校とし ICT 活用研究や iPad や短焦点プロジェクタの活用推進を進めていく。</li> <li>・ICT 活用入りの教科等年間指導計画を各校の実践につながるよう学校訪問等で確認しながら指導する。</li> </ul>						

- 基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち  
 基本施策 2 都市拠点の強化とプライスレスな体験のあるまち

## 基本事業① 地域資源を活かした交流の推進

事業名	No.10 交流促進ツアー、イベントへの支援						
担当	建設経済部商工観光課						
事業概要	地域の特色、個性などの観光資源を活かした交流促進事業などに対し支援を行い、交流人口の増加、市の認知度の向上を図る。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	実施	実施	実施	準備等	準備等	
	実績	実施	実施				
事業指標	指標	市民力を活用したイベントの開催回数				単位	回
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		2	2	2	2	2
	実績	0	2	2			
事業実施結果	<p>・「きくがわおんぱく」を5月14日～6月22日の40日間で開催。プログラムの総開催数も前回の96回から101回になり、参加人数も約3920人と前回から増加するなど、イベント自体の認知度も向上してきている。6割以上が市内からの参加者であり、参加者の91.5%の方が「とても満足・満足」と回答し、次回のおんぱくへの参加希望も90%を超えるなど、盛況であった。地域資源や魅力の再発見・活用を図り、様々な視点で地域を見直すことができている。</p> <p>・菊川駅南商店街組合が行っている「朝市&amp;フリーマーケット&amp;グルメ」を6回開催した。また、これまで奇数月の開催であったが、11月の開催を年末の需要を見込んだ12月に変更するなど来場者の確保に取り組んだ。</p>						
課題	<p>・「おんぱく」は、菊川市観光協会から民間団体に事業実施を委託している。継続的に事業を実施していくため、開催方式や財源等について、29年度事業と平行して検討・協議を進めていく必要がある。</p> <p>・「朝市&amp;フリーマーケット&amp;グルメ」は、午後には来場者が減少し、出展者も撤収してしまう傾向があるため開催時間を検討する必要がある。また、出展者数や来場者数も固定化されてきていることから事業内容も固定化傾向にある。新たな魅力を発信していく取り組みが求められている。</p>						
今年度の取組み	<p>・「おんぱく」については、昨年度と同様に菊川の特産や自然の良さなどをより知っていただくため、新茶時期である5月からの開催としている。また、市内にはさまざまな企業などがあることから、幅広くパートナーを募るなど検討を進める。</p> <p>・「朝市&amp;フリーマーケット&amp;グルメ」については、新たな出展者や客層を確保するために、その他のイベントとの同時開催等を提案する。</p>						

- 基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち  
 基本施策 2 都市拠点の強化とプライスレスな体験のあるまち

## 基本事業① 地域資源を活かした交流の推進

事業名	No.11 地域資源を活かした集客促進						
担当	建設経済部商工観光課						
事業概要	市にある地域資源の魅力を再発見・再認識するとともに、市内ガイドや観光地の案内看板設置、WiFi 環境など地域資源の活用を図る施設整備の検討を進める。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	検討	検討	実施	実施	
	実績	検討	検討				
事業指標	指標	※実施内容を検討中のため未定				単位	
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標	※実施内容を検討中のため未定 (H29 年度までに確定)					
	実績						
事業実施結果	平成 28 年度は、菊川市の魅力発信事業の一つであるテーマトレインなどに採用された「しあわせのわきくがわ」のデザインを活用し、菊川市の玄関口である JR 菊川駅前に看板を設置した。また、もう一つの玄関口である東名高速道路菊川 IC 前にも同様の看板を設置するように関係機関と調整を進めた。						
課題	本市の持つ地域資源の魅力をさらに高めるための”磨き上げ”や、新たな観光資源の”掘り起こし”を進める必要があり、効果的な周知・PR が求められている。また、観光案内として、Wi-Fi の導入や多言語の案内看板設置についても、必要である場所、効果的な場所の選定などとともに、費用対効果も検討する必要がある。						
今年度の取組み	観光施設をどのように周知・PR するのか対象や場所・方法などについて、引き続き検討を進める。Wi-Fi の導入について、場所や想定する利用者、費用対効果等について検討する。ゆるキャラグランプリにおいて全国 14 位、県内 1 位となった本市のマスコットキャラクターきくのんの活躍を活かすため、きくのんイベントを実施する。また、補助金など活用できる制度の情報収集を進める。						

- 基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち  
 基本施策 2 都市拠点の強化とプライスレスな体験のあるまち

## 基本事業①

## 地域資源を活かした交流の推進

事業名	No.12 茶交流体験促進事業の実施						
担当	建設経済部茶業振興課						
事業概要	市で従来実施していたグリーンツーリズム事業を拡充し、茶や野菜等の各生産者と行政が協同して企画・運営を行う交流体験事業を実施し、菊川茶や市内特産物のPRと交流人口の増加を図る。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	実施	実施	実施	実施	実施	
	実績	実施	実施				
事業指標	指標	本事業への市外からの来場者数				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		500	550	600	650	700
	実績	—	486	486			
事業実施結果	<p>茶摘み、手揉み体験、茶工場見学、お茶の淹れ方教室、野菜収穫体験などの農業体験事業を全7回開催した。また、新たな生産者等との企画運営による新規事業も4回実施し、実施団体の発掘や育成を図ることができた。</p> <p>全事業の来場者数は4,488人と多くの方に参加いただいたが、把握できた市外からの来場者数は486人となり、目標の550人を達成することができなかった。</p>						
課題	<p>「ライトアップ&amp;満月の下での茶摘み体験」や「天浜線農業体験」など、今後の展開が期待できる新たな事業企画を実施することができたが、市外からの来場者数については目標値を達成することができなかった。要因の一つとしては宣伝が十分でなかったと考えられる。特に市外向けの宣伝については、生産者だけでは宣伝方法や周知先の選定などにも限界があるため、ツアー会社等と企画運営し、宣伝を強化することが必要と考えられる。</p>						
今年度の取組み	<p>目標である市外からの来場者数600人を達成させるため、新たにツアー会社等との共同事業の実施や市外へ出向き菊川市のPRを実施する。また、生産者やツアー会社等の宣伝活動を支援することで宣伝の強化に努め、市外からの来場者数の増加を図る。</p>						

- 基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち  
 基本施策 2 都市拠点の強化とプライスレスな体験のあるまち

## 基本事業②

## 駅周辺のまちづくりの推進

事業名	No.13 菊川駅北口及び駅北地域の将来構想の策定						
担当	建設経済部都市計画課						
事業概要	菊川駅北口の新設と駅北周辺の整備計画について、将来構想案を策定する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	検討	検討	検討	準備等	
	実績	検討	検討				
事業指標	指標	事業スケジュール(案)を作成する				単位	—
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		庁内検討	将来構想策定	実現に向けた検討	地元説明	事業スケジュール(案)作成
	実績	—	庁内検討	構想案策定			
事業実施結果	<p>市民意見等を把握するため、市民アンケート及びワークショップを実施した。また、構想の実現性を高めるため、企業ヒアリングを行い、構想に対する意見や民間の需要調査を実施した。</p> <p>アンケート及びワークショップ、企業ヒアリングの結果を分析し、構想案の検討を進め、構想案を作成した。</p>						
課題	<p>構想の実現に向け、整備エリアや手法及び整備スケジュールを検討していく必要がある。</p> <p>また、構想案の早期確定及び公表を行い、適正な民間開発を誘導しながら、事業実施に向けたさらなる検討が必要である。</p>						
今年度の取組み	<p>&lt;駅北構想概略整備計画の検討&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備エリアの検討</li> <li>・整備手法の検討（面、線等）</li> <li>・整備スケジュールの検討（手順等）</li> </ul>						

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち

基本施策 3 シティプロモーションの実施

## 基本事業① 知名度向上戦略の展開

事業名	No.14 菊川市魅力発信事業						
担当	総務部秘書広報課、企画財政部企画政策課						
事業概要	様々な手法(ランディングページ、魅力紹介冊子の作成、テーマトレイン等)による菊川市の認知度向上に向けた事業を実施する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	実施	実施	実施	実施	実施	
	実績	実施	実施				
事業指標	指標	ホームページの魅力紹介ページのアクセス数				単位	PV
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		ページ作成	40,000	60,000	80,000	100,000
	実績	—	2,379	12,175			
事業実施結果	<p>平成 27 年度に引き続き、「しあわせのわきくがわ」をキャッチフレーズに、市外在住の子育て世代をターゲットにした菊川市の魅力発信を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマトレインの実施 豊橋⇄熱海（8月2日～8月15日（14日間））</li> <li>・インターネットを活用した広告（Web 広告）の実施 8月1日～8月21日（21日間）</li> <li>・市PRポスターの掲出 1,000部 市のPR用ポスターを作成し、市内の事業所等に掲出を依頼</li> </ul>						
課題	<p>「市がやっている事が市民まで伝わっていない」という意見があったため、市のPRポスターを作成し、市内の事業所等に掲出を依頼し、周知を図った。</p> <p>ウェブ広告では、実施期間中のアクセス数の増加を確認できたが、一時的なものであり、継続した広告が必要と感じた。</p>						
今年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菊川市魅力紹介小冊子「しあわせのわきくがわ」の一部リニューアル</li> <li>・インターネットを活用した広告（Web 広告）の実施</li> <li>・市公式フェイスブック等による市ホームページのPR</li> <li>・市外イベントでの小冊子の配布</li> <li>・市プロモーションビデオをユーチューブに掲載し、市HPへ誘導</li> </ul>						



基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち

基本施策 3 シティプロモーションの実施

基本事業①

知名度向上戦略の展開

事業名	No.15 メディアを利用した情報発信						
担当	総務部秘書広報課						
事業概要	菊川市の認知度向上のための効果的な広報活動として、TVコマーシャル作成し、放送する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	実施	実施	実施	実施	実施	
	実績	実施	実施				
事業指標	指標	市ホームページのアクセス数				単位	PV
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		290,000	292,000	294,000	297,000	300,000
	実績	269,373	290,335	346,970			
事業実施結果	<p>平成27年度に作成した2種類の15秒のテレビCMを放送し、知名度向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放送時期 8月6日～8月15日（9日間）</li> <li>・放送回数 SBS静岡放送 25回 テレビ静岡 7回（合計32回）</li> </ul>						
課題	<p>テレビという媒体の性質及び夏休み、お盆時期に放送したことで相当数の人数にCMを見てもらった。また、数値的な評価はできないが、継続して2年実施したことで菊川市を知ってくれた人も増えたと考えている。今後は、CM放送を継続することも含め、他の方法での魅力発信についても検討する必要がある。</p>						
今年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の魅力を紹介するプロモーションビデオを制作し、YouTubeに掲載</li> <li>・市公式フェイスブック等によるプロモーションビデオのPR</li> <li>・市内高校でのプロモーションビデオの上映</li> </ul>						

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち

基本施策 3 シティプロモーションの実施

基本事業①

知名度向上戦略の展開

事業名	No.16 菊川の教育 親子見学ツアーの検討						
担当	企画財政部企画政策課						
事業概要	首都圏の親子などに菊川市を第2のふるさととして認知、訪問してもらうため、農業体験や地域住民とのふれあいの場を提供する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	準備等	実施	実施	実施	
	実績	検討	実施				
事業指標	指標	農学芸スクール事業長期休暇企画参加者数				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		—	80	80	120	120
	実績	—	—	76			
事業実施結果	<p>菊川の教育 親子見学ツアーの一つとして「農学芸スクール事業 Agri Arts &amp; Science School」を企画し、地方創生加速化交付金事業として申請・採択された。事業の実施について、㈱エムスクエア・ラボと業務委託契約を締結し、小・中学生のコミュニケーション力や論理的思考力など「生きる力」を育むため、菊川市の主幹産業の一つである農業を軸に学校や家庭では体験できない成長機会を提供した。また、首都圏の親子などに菊川市を第2のふるさととして認知、訪問してもらうため、農業体験や地域住民とのふれあいの場を提供した。目標である市外からの事業参加者は、夏季休暇企画 50 人（名古屋 14 人、首都圏 36 人）、冬季休暇企画 2 人、菊川市移住セミナー 24 人であった。</p>						
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度は、地方創生推進交付金に申請し 4 月 28 日付で交付決定を受けた。平成 30 年度末までの自立化、法人化に向け、30 年度の財源確保を進める必要がある。</li> <li>・地域で運営する体制を構築するため、ボランティア等の人材確保や、農業ビジネスの確立（年間活動費を稼げる農業）、参加者収入など、収入源の確保等を進める必要がある。</li> <li>・「居住地として選ばれるまち」を実現するため、菊川の地域資源を活用した農業体験ツアーへの参加協力や、県外からの参加者親子等への継続的な情報発信など、菊川への愛着を育む仕組みづくりを進めていく必要がある。</li> </ul>						
今年度の取組み	<p>「農学芸スクール事業 Agri Arts &amp; Science School」業務委託を発注、進捗管理し、事業の推進を図る。</p> <p>①菊川ジュニアビレッジ（通常企画）の実施：市内児童・生徒から希望者を募り、拠点を中心とした生産、商品企画、販売の一連の農業ビジネスを実体験できるプログラムを実施する。また、本年度は別事業として実施する首都圏等の親子を対象とした農業体験ツアーに参加協力し、地域資源の魅力を参加者に伝える活動を実施する。</p> <p>②次世代イノベーター育成塾（特別企画）の開催：首都圏等市外の中・高生を対象に、通常企画で構築した農業ビジネス実践プログラムを合宿型短期集中講座で開催する。</p>						

## 基本目標 2 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち

### 基本施策 1 郷土愛を育むまち

重要業績評価指数	基準値 (H26)	目標値 (H31)
菊川市に将来住みたいと思う高校生の割合	20.1%	50.0%

#### 基本事業

①若者の郷土愛を育む

P34

### 基本施策 2 「働く場」と「出会い」があるまち

重要業績評価指数	基準値 (H26)	目標値 (H31)
事業所数	1,853 事業所	1,860 事業所
婚姻数	2,790 組 (H22-26 累計)	2,810 組 (H27-31 累計)

#### 基本事業

①新企業の進出促進・創業の支援

P36

②U・ターン者、女性、高齢者にむけた多様な就労環境の創出

P38

③婚活支援

P41

### 基本施策 3 アクセスの良さを活かした住環境の整備

重要業績評価指数	基準値 (H26)	目標値 (H31)
住宅取得補助制度の利用件数	制度無し	240 件 (H28-31 累計)

#### 基本事業

①子育て世代や若者の定住促進

P43

### 基本施策 4 自己実現できるまちづくり

重要業績評価指数	基準値	目標値 (H31)
65 歳以上人口に占める要支援・要介護認定者の割合	16.98% (H31)	16.90%以下

#### 基本事業

①若者・女性・高齢者が活躍できる地域づくり

P47

②健康寿命の延伸

P49

基本事業①

若者の郷土愛を育む

事業名	No.17 ふるさと志向力を育むキャリア教育						
担当	教育文化部社会教育課						
事業概要	市内中学校において企業、団体、官公署がブースを設置し、生徒たちが興味・関心のあるブースで講演を聞く、キャリア教育事業を実施する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	実施	実施	実施	実施	実施	
	実績	実施	実施				
事業指標	指標	事後アンケート「大人になっても菊川市に住み続けたい」と思う生徒の割合				単位	%
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
	実績	—	24.5	37.0			
事業実施結果	<p>下記のとおり市内3中学校の各教室に企業、団体、官公署が出向き、パワーポイントや写真のスライドを使って15分間のプレゼンテーションを3回行った(西中学校は20分間を4回)。生徒は自分の興味のあるものを3つ選択し各ブースをまわった。</p> <p>平成28年5月9日(月) 菊川西中学校 教室 参加企業・団体・官公署:12社 参加生徒158人                  平成28年5月10日(火) 岳洋中学校 教室 参加企業・団体・官公署:6社 参加生徒122人                  平成28年6月17日(金) 菊川東中学校 教室 参加企業・団体・官公署:11社 参加生徒110人</p> <p>授業を受けての感想として、「企業等のことが良くわかった」「菊川市への愛着が強くなった」「就職したいという思いが強くなった」といった意見が多くあり、生徒自らの生き方を考える良いきっかけになった。指標及び数値目標のアンケート結果「大人になっても菊川市に住み続けたい」と思う生徒の割合①思う37%②どちらかといえば思う40%③どちらかといえば思わない17%④思わない6%</p>						
課題	<p>中学校の教育課程に組み込まれた本事業に、日程や業種など学校からの要望に基づき社会教育課が企業・団体・官公署との橋渡しを行っている。前年度から参加企業等を決定し、4月後半から2校連続して事業実施といったスケジュールである。学校及び参加企業等も年度替わりして1ヶ月後という多忙期にあたるため、業種の参加企業等を新たに発掘し、各中学校へ分散して依頼する必要があると考える。</p>						
今年度の取組み	<p>○中学生ふるさと未来塾</p> <p>平成29年4月28日(金) 菊川西中学校 教室 参加企業・団体・官公署:12社                  平成29年5月9日(火) 岳洋中学校 教室 参加企業・団体・官公署:10社                  平成29年6月16日(金) 菊川東中学校 教室 参加企業・団体・官公署:11社</p>						

基本事業① 若者の郷土愛を育む

事業名	No.18 高校生ふるさとセミナー						
担当	企画財政部企画政策課						
事業概要	高校と連携し、高校生に市の抱える課題や今後の展望について講義をし、問題意識を持ってもらうと共に地元への愛着を持ってもらう。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	実施	実施	実施	実施	
	実績	準備等	実施				
事業指標	指標	ふるさとセミナー参加者数				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		—	30	60	90	120
	実績	—	—	89			
事業実施結果	<p>高校との包括的な連携協定に基づき、小笠、常葉菊川両高校において、生徒が主体となりまちの課題について考え、解決策の提案を行う「高校生ふるさとセミナー」事業を実施した。</p> <p>【小笠高校】地域の抱える課題（人口減少問題）について、農業・工業・商業の各系列の3年生26人が、菊川市内を学びのフィールドとし、調査項目や対象から生徒が主体的に考え、解決策をまとめ発表した。</p> <p>【常葉菊川高校】1年～3年63人が、年間を通して様々な講座（講演・実習・フィールドワーク等）を受講し、年度後半にはグループで成果をまとめ、校内発表した。</p> <p>【高校生まちづくりプレゼンテーション大会】両校の校内選考で選出された各2グループが、1月26日ブラザげやきで開催されたプレゼンテーション大会で発表した。</p>						
課題	<p>本事業を若年層の転出超過抑制につなげるため、両校の実施するキャリア教育と、それに関わる行政が連携し、お互いの持つ資産を有効に活用できるよう検討する場が必要である。また、高校生へのキャリア教育は長期的に重要な政策であり、単発の話し合いではなく継続的に検討できる場である必要があるため、キャリア教育推進協議会（仮）の立ち上げを進める必要がある。また、南陵高校について、昨年度学校側の意向により事業実施が厳しいため、実施方法等を含め継続して協議・検討する必要がある。</p>						
今年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菊川市キャリア教育推進協議会（仮）を立ち上げ、高校生に対するキャリア教育カリキュラムが、市の人口減少問題に対し、より効果的なものとなるよう、継続的に協議・研究していく。</li> <li>・小笠高校、常葉菊川高校が実施する授業、講座がより効果的なものとなるよう、関係機関と連携・調整し、円滑な実施を図る。</li> <li>・両校生徒が取り組んだ内容の発表の場として、高校生まちづくりプレゼンテーション大会を開催する。</li> <li>・南陵高校の事業実施について、引き続き協議・検討を進める。</li> </ul>						

基本事業①

新企業の進出促進・創業の支援

事業名	No.19 企業誘致に向けた取り組みの推進						
担当	建設経済部商工観光課						
事業概要	市内における雇用創出を図るため、企業誘致を推進する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	実施	実施	実施	実施	実施	
	実績	実施	実施				
事業指標	指標	事業所・企業等の新規立地件数				単位	件
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		—	2	2	2	2
	実績	—	—	4			
事業実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●企業訪問                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業訪問による情報交換、操業支援の実施。</li> <li>・市外（県外）企業訪問による新たな企業誘致に関する情報交換の実施。</li> </ul> </li> <li>●遊休地情報の収集、発信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業導入のための遊休地情報の収集、更新を行い、金融機関及び不動産業者等へ情報発信を行った。</li> </ul> </li> </ul> <p>○結果：物流関連会社2社が立地した（既存企業の業務拡大及び敷地拡張による立地2件）。また、その他遊休地2か所に太陽光発電施設が設置され、計4社の立地となった。</p>						
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新たな企業導入用地の選定：当市では企業導入に有力な工業団地に空きがないため、市内における民有遊休地等の情報収集、課題整理を行い、有力な候補地を発信していく必要がある。これまで比較的小規模遊休地を紹介してきたが、開発を視野に入れた企業導入用地の検討を進めていく。</li> <li>●企業誘致・操業支援制度の創設：新たな企業導入、既存企業の更なる設備投資促進による産業の活性化を図るため、既存の補助制度の見直し、新たな制度の創設が必要である。</li> </ul>						
今年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●企業訪問                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業訪問による情報交換、操業支援の実施。</li> <li>・市外（県外）企業訪問による新たな企業誘致に関する情報収集、交換の実施。</li> </ul> </li> <li>●遊休地情報の収集、発信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業導入のための遊休地情報の収集、更新</li> <li>・開発候補用地の選定、課題整理</li> <li>・金融機関、不動産業者等への遊休地情報発信</li> </ul> </li> </ul>						

基本目標2 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち

基本施策2 「働く場」と「出会い」があるまち

基本事業①

新企業の進出促進・創業の支援

事業名	No.20 創業の支援						
担当	建設経済部商工観光課						
事業概要	菊川市と創業支援機関（商工会、金融機関、JA等）が連携し、地域における創業者を支援することで、地域の活性化、雇用の確保を目指す。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	準備等	実施	実施	実施	実施	
	実績	準備等	実施				
事業指標	指標	市内創業支援者数				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		計画 策定	125	130	135	140
	実績	計画 なし	計画 策定	125			
事業実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●菊川市創業支援事業計画に基づく創業支援機関との連携                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内創業支援機関（商工会、金融機関等）との情報共有、事務事業の調整を目的とし、定期的（年2回）に情報交換会を開催した。また、創業支援計画に基づく支援者数は125人であった。</li> </ul> </li> <li>●創業支援セミナーの開催                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・菊川市主催の「創業支援セミナー」では、創業希望者9名及び創業支援者6名が参加した。</li> <li>・金融機関との共催により創業者向けのセミナー「売れるチラシの作り方」を開催し、40名が参加した。</li> </ul> </li> </ul>						
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・潜在的な創業支援希望者の把握が困難であるため、創業支援機関との連携により、幅広く支援事業の周知を行う。</li> <li>・セミナー等への参加者や創業後の創業者への支援の手法、情報共有についての検討が必要である。</li> </ul>						
今年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・菊川市主催、創業支援セミナーの開催</li> <li>・創業希望者から相談対応</li> </ul> </li> <li>●創業支援機関との連携強化                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内創業支援機関等との意見、情報交換会の実施</li> </ul> </li> <li>●情報収集、発信                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内創業支援機関等が関わる創業支援事業の情報発信</li> </ul> </li> </ul>						

基本目標 2 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち

基本施策 2 「働く場」と「出会い」があるまち

## 基本事業②

## U・Iターン者、女性、高齢者にむけた多様な就労環境の創出

事業名	No.21 若者・女性・高齢者の就業促進及び就労環境の向上						
担当	建設経済部商工観光課						
事業概要	就労支援機関（ハローワーク等）との事業連携や情報交換、また企業への啓発活動により、若者・女性・高齢者の就業促進及び就労環境の向上を図る。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	実施	実施	実施	実施	実施	
	実績	実施	実施				
事業指標	指標	女性のおしごと案内所「なでしこワーク」 年間来場者数				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		開設	200	210	220	230
	実績	—	94 (5ヵ月)	116			
事業実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●女性のおしごと案内所「なでしこワーク」開設 ハローワーク掛川との共同事業としてプラザけやきにて毎月開設し、延べ116人が利用した。</li> <li>●女性就労・就業支援事業の実施 年間を通じた支援事業とし、全6回の継続セミナー及び単独セミナーを3回実施した。29名（延べ102名）が就労に向けた座学や企業との面談等を通じて知識習得を図り、うち3名の就職に繋がった。</li> <li>●高齢者就労支援 働く意欲のある高齢者を対象とし、求人情報を提供した。情報紙の配架先を市役所・小笠支所に加え、市内13地区センターまで拡充した（毎月1回更新）。</li> </ul>						
課題	<p>女性を対象とした就労支援については、相談窓口や支援事業に訪れた方の声を聞き、可能な限り要望を満たす内容の事業展開が必要である。今後も利用者数の増加を促すため、事業内容の検証による利便性の向上を図っていく必要がある。また、若者・高齢者の就労支援については、ハローワーク等の支援機関との意見交換や先進地事例の研究により、実施に向けた事業の企画を進めていく必要がある。</p>						
今年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性のおしごと案内所「なでしこワーク」開設（毎月1回）</li> <li>・女性の就労就業支援事業（セミナー、講座等）の実施</li> <li>・高齢者向け求人情報の発信、若者・高齢者向け就労支援事業の研究、企画提案</li> </ul> </li> <li>●支援機関との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労支援事業の改善を図るため、ハローワークとの情報交換を行う。</li> </ul> </li> </ul>						

基本目標 2 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち

基本施策 2 「働く場」と「出会い」があるまち

基本事業②

U・Iターン者、女性、高齢者にむけた多様な就労環境の創出

事業名	No.22 U・Iターン者の就業促進と人材育成支援						
担当	建設経済部商工観光課						
事業概要	菊川市への移住定住に不可欠である「働く場」の情報発信により、U・Iターンの推進し、市内企業と人とのマッチング支援を行うとともに、人材の確保・育成に繋げる。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	実施	実施	実施	実施	
	実績	検討	実施				
事業指標	指標	大学等と連携した企業へのインターンシップ支援実施数				単位	社
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		—	1	1	2	2
	実績	—	—	0			
事業実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●就労支援団体への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワーク及び、掛川市、菊川市、御前崎市、学校等が組織する雇用対策協議会の事務局を担い、当該協議会の事業運営を行った。</li> <li>・中東遠地区商工会連絡協議会小笠支部等が実施する大学生等に向けた企業求人説明会及び高校生、学校向けの企業説明会の開催にあたり、情報発信、広報等の支援を行った。</li> </ul> </li> </ul>						
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化や人口流出による労働者不足は顕著に表れており、活力ある地域づくり実現のためには有効なUIターン促進事業の展開により、学生を中心としたUIターン就職先の確保及び地元企業の人材確保を図ることが必要である。また、UIターンのみならず、就職を考える高校生の地元就職を促す取組みの強化も必要である。</li> <li>・インターンシップ事業の展開にあたり、大学等が持つ情報サイトへ「受け入れ企業」としての、登録促進に取り組む必要がある。</li> </ul>						
今年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労支援団体への事業費補助。</li> <li>・就労支援団体が行うUIターン事業等への支援（情報発信等）。</li> </ul> </li> <li>●大学等との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学等と企業の連携によるインターンシップ事業支援。</li> <li>・平成29年度市内受入企業登録件数3社（平成28年度受入実績0社）。</li> </ul> </li> </ul>						

基本目標2 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち

基本施策2 「働く場」と「出会い」があるまち

## 基本事業②

## U・Iターン者、女性、高齢者にむけた多様な就労環境の創出

事業名	No.23 就業支援を含む奨学金制度の検討						
担当	企画財政部企画政策課						
事業概要	市と地元産業界が出捐する基金を造成し、人口流出のタイミングである大学進学時と卒業後の最初の就職時に働き掛ける奨学金制度を創設することにより、地域課題の解決や産業を支える人材を確保する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	準備等	実施	実施	実施	
	実績	検討	検討				
事業指標	指標	本市独自の奨学金制度を運営する財団法人の数				単位	法人
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		—	—	1	1	1
	実績	—	—	—			
事業実施結果	<p>国の新たな奨学金制度や国内の先進事例についての情報収集を実施した。また、県内で既に独自の奨学金制度やUターンを促進するための制度を創出している自治体等の事例について、訪問・聞き取りにより調査を実施した。さらに、市内事業所に対し人材確保への取り組みや希望する支援、奨学金制度等創出の意向を調査し、次年度以降の制度検討に係る基礎資料（成果品）を取りまとめた。</p>						
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、奨学金制度を運営する財団法人の設立予定等はない。今後、どのような主体で、どのような制度が良いか、取り組みの方向性を定めていくことが課題。</li> <li>・昨年度調査した市内企業が求める人材確保の方策等を参考に、若者のUターンにつながるよう企業との連携方法（寄附や就職受入れ等）を検討する必要がある。</li> <li>・制度構築事務に係る財源の確保。</li> </ul>						
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国においても新たな奨学金制度について検討が進められているなど、今後大きな制度変更が予想されるため、近隣自治体を含め、引き続き情報収集を行う。</li> <li>・昨年度に引き続き、市内企業へのアンケートや聞き取りを実施し、人材確保に係る方策や意向を探る。</li> <li>・菊川市の实情にあった奨学金制度の構築について、内部で主体や制度等について検討を進める。</li> </ul>						

基本目標2 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち

基本施策2 「働く場」と「出会い」があるまち

### 基本事業③

### 婚活支援

事業名	No.24 婚活支援イベント						
担当	企画財政部企画政策課						
事業概要	定住及び少子化対策の第一段階である結婚への支援を目的とする婚活パーティーを実施する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	実施	実施	実施	実施	実施	
	実績	実施	実施				
事業指標	指標	婚活支援イベントにおけるマッチングしたカップル数				単位	数
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		6	6	6	6	6
	実績	—	10	17			
事業実施結果	<p>平成28年11月23日に「アエルで出逢える 恋仲パーティー2017」を開催した。第1部（30歳代・40歳代・50歳代）、第2部（20歳代・30歳代）の2部構成で開催し、計88名の参加があった。内容については、昨年度と同様にパーソナリティとして落語家の立川晴の輔師匠を招き、参加者同士の1対1トーク、フリートーク、交流ゲーム等で参加者の交流を図り、第1部・第2部合わせて17組のカップルがマッチングした。</p> <p>目標達成のための新たな工夫として、昨年度の参加者から1対1で話す時間を増やしてもらいたいという意見が複数あったため、1対1トークの時間を延ばし、参加者が交流する時間を増やした。また、平成27年度に実施した事業でマッチングしたカップルのうち、1組が結婚する見込みとなった（平成29年11月結婚予定）。</p>						
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者募集について、募集手段の多様化を図る必要がある。平成28年度の事業については、市外への積極的な周知は行わなかったが、女性参加者の半数以上が市外在住者であり、市外女性の需要はあると思われるため、市内だけでなく、市外への事業周知を強化していくべきである。</li> <li>「行政が婚活事業を行う強み」を活かしていく必要がある。魅力的なパーソナリティや司会を招くことや、安価な参加費で充実した内容にするなど、民間で実施する婚活パーティーとの差別化を図っていくことが求められている。</li> </ul>						
今年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>「アエルで出逢える 恋仲パーティー」を継続開催し、菊川市が行う婚活イベントとして事業の定着を図る。</li> <li>課題の①に対して、市内だけでなく、近隣市にも積極的にポスター・チラシの配架を行う。また、ラジオや新聞などのメディアを活用し、事業の周知を図り、参加者の確保に努める。</li> <li>課題②に対して、引き続きパーソナリティと連携して交流ゲームを進めることや、マッチングしたカップルにアドバイスをする時間を設け、上手く付き合いができるように図り、婚姻数の増加につなげる。</li> </ul>						

基本目標 2 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち

基本施策 2 「働く場」と「出会い」があるまち

### 基本事業③

### 婚活支援

事業名	No.25 同窓会への補助事業						
担当	企画財政部企画政策課						
事業概要	定住及び少子化対策の第一段階である結婚への支援を目的とし市内で開催される同窓会に係る費用を一部助成する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	準備等	実施	実施	実施	実施	
	実績	検討	検討				
事業指標	指標	同窓会補助事業（代替事業）の申請件数				単位	件
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		—	平成 29 年度に方針検討し決定する。			
	実績	—	—				
事業実施結果	全国の自治体で実施している同窓会事業について情報収集を行った。また、県内の同窓会事業を実施している自治体（富士宮市、磐田市、島田市、藤枝市、下田市）にヒアリングし、事業実施に伴う効果や課題等を聞き取り、次年度以降の実施検討に係る資料を取りまとめた。						
課題	同窓会事業については、県内他市での実績を見ると、参加者が募集人数に満たないケースや事業を廃止したケースもあるため、実施に向けては慎重に検討していく必要がある。						
今年度の取組み	他市の同窓会事業の実施結果及び市民の需要を踏まえた上で事業実施の是非を検討する。実施する場合については、同窓会代行業者の利用など、同窓会事業の実施手法について検討する。						

- 基本目標 2 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち  
 基本施策 3 アクセスの良さを活かした住環境の整備

## 基本事業① 子育て世代や若者の定住促進

事業名	No.26 空き家対策事業の推進(特定空き家対策事業)						
担当	建設経済部都市計画課						
事業概要	適切な管理が行われていない危険な特定空家を排除し、住環境の安全安心を確保する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	実施	実施	実施	実施	
	実績	準備等	実施				
事業指標	指標	空き家相談件数				単位	件
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		—	10	10	10	10
	実績	—	—	67			
事業実施結果	<p>【制度周知】平成27年度に策定した「菊川市空家等対策計画」について、市ホームページへの掲載、広報菊川5月号への特集記事掲載、連合自治会定例会(5月)での制度説明等により、制度周知を図った。</p> <p>【実態調査】住宅・土地統計調査では、個々の空家等の位置や所有者、構造や建築年等が分からないことから、市内全域の空家等の現状を把握するため、水道の閉栓情報及び家屋の固定資産課税情報を照合することで、戸建住宅の空家を対象とした実態調査を実施した。</p> <p>【相談対応】「菊川市空家等対策計画」に基づき、平成28年4月1日より相談窓口を都市計画課に設置し、67件の相談に対し、内容に即した対応を実施した(現地調査・対応指導等)。</p>						
課題	<p>【制度周知】平成28年度から「空き家の発生を抑制するための特例措置(譲渡所得の3,000万円特別控除)」が新たに始まったことから、制度の周知が必要である。</p> <p>【実態調査】平成28年度に実施した実態調査の後も、新たな空家等の発生や解体等により、空家数の増減が想定されるため、毎年定期的に数値の見直しが必要である。</p>						
今年度の取組み	<p>【制度周知】官民協働発行による空家情報冊子を窓口及び郵送にて配布し、空家等対策特措法の概要や相談窓口の紹介に併せて、空き家の発生を抑制するための特例措置(譲渡所得の3,000万円特別控除)の周知を図る。</p> <p>【実態調査】平成28年度に実施した実態調査を基に分析を行い、今後の空家等に関する対策を検討するための基礎資料とし、併せて、水道の閉栓情報、家屋の固定資産課税情報、建設リサイクル法の届出実績により、実態調査における空家数の見直しを行う。</p> <p>【相談対応】市民や所有者等からの空家相談を受付、内容に即した指導等を実施し空家削減を図る。</p>						

基本目標 2 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち

基本施策 3 アクセスの良さを活かした住環境の整備

## 基本事業①

## 子育て世代や若者の定住促進

事業名	No.26 空き家対策事業の推進(空き家の利活用)						
担当	企画財政部企画政策課						
事業概要	市外からの移住を考えている方の参考となるよう、空き家等の不動産情報について提供する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	実施	実施	実施	実施	
	実績	準備等	実施				
事業指標	指標	市HPに掲載する空き家等情報件数				単位	件
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		—	5	10	15	20
	実績	—	—	20			
事業実施結果	<p>空き家情報提供に向け、県や近隣自治体への聞き取り、静岡県宅建協会との協議を行った。宅建業法等の問題もあり、現状では民間の不動産サイトを活用した情報提供のみを行うこととし、市ホームページに情報提供ページを作成・公開した。</p>						
課題	<p>市ホームページに外部サイトにリンクする情報提供ページを作成したため、民間不動産サイトでは空き家の情報を閲覧できるが、市独自に収集した空き家情報件数はない。そのため、移住相談の際には外部サイトの情報提供ページの紹介のみとなっており、相談者自ら空き家の情報を集めてもらっているのが現状である。</p> <p>空き家バンクについては、開設するニーズの把握、開設準備、開設した際の情報の掘り起し、登録物件の確認、職員の事務負担など課題が多く、新たな方向での空き家情報の提供を考える必要がある。</p>						
今年度の取組み	<p>本年度、国において空き家情報を集約した情報提供システムを構築する動きがあるため、情報の把握に努め、活用方法について検討していく。また、市内不動産業者には、把握している空き家についての情報を民間不動産業者サイトへ掲載してもらえるよう協力をお願いしていく。</p>						

基本目標 2 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち  
 基本施策 3 アクセスの良さを活かした住環境の整備

## 基本事業① 子育て世代や若者の定住促進

事業名	No.27 菊川市住宅取得補助制度						
担当	建設経済部都市計画課						
事業概要	適切な管理が行われていない危険な特定空き家を排除し、住環境の安全安心を確保する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	実施	実施	実施	実施	
	実績	準備等	実施				
事業指標	指標	若者世帯定住促進補助制度利用件数				単位	件
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		制度策定	60	60	60	60
	実績	—	制度策定	30			
事業実施結果	平成 27 年度に策定した「若者世帯定住促進補助制度」に基づき、対象者に住宅取得費用の一部を補助した (H28 年度 : 30 件)。なお、制度創設初年度であり、補助対象条件の一つである、「取得した住宅が、平成 28 年 4 月 1 日以降の契約 (注文住宅の場合は工事請負契約、建売又は中古住宅の場合は売買契約) に基づくもの。」という条件で対象から外れる人が多くいたため、申請件数が伸びなかった。						
課題	本補助制度の対象となる世帯がこの制度を認識しておらず、住宅取得から 6 カ月経過し、補助対象から外れることがないように、周知していく必要がある。						
今年度の取組み	<p>昨年度に引き続き、若者世帯定住促進補助制度の周知を徹底するとともに、適切な業務を行い、定住人口の増加を図る。また、補助制度利用者に対しアンケート調査を行い利用者の実態を把握する。</p> <p>【周知】作成したチラシを各関係機関に配布し、制度周知と活用を促す。また、市ホームページへの掲載、広報菊川 4 月号に掲載、地元の建築士会への説明会 (6 月) にて制度周知を図る。</p> <p>【申請受付】申請受付は、随時行う。</p>						

基本目標 2 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち  
 基本施策 3 アクセスの良さを活かした住環境の整備

基本事業①

子育て世代や若者の定住促進

事業名	No.28 土地区画整理事業(住宅地の提供と生活環境整備)						
担当	建設経済部都市計画課						
事業概要	生活基盤を整備する土地区画整理事業地区内の調査を実施する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	準備等	準備等	準備等	実施	
	実績	検討	検討				
事業指標	指標	都市計画道路整備延長/都市計画道路総延長(赤土地内4路線)整備率				単位	%
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		17	17	17	17	17
	実績	17	17	17			
事業実施結果	<p>赤土地の区画整理検討地区内における事前調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・治水詳細検討業務 79.6ha</li> <li>・地形測量業務 41.8ha</li> <li>・地元意向調査業務 79.6ha</li> <li>・概算事業費算出業務 4パターン</li> </ul>						
課題	<p>本地区の調査区域は80haであり、用途区分にあつては住宅系から工業系まで様々である。住居系の用途に供されている区域では、生活道路の幅員が狭く防災的にも十分な環境ではない。また、工業系の用途区域にあつては現況が農地であり接道等が未整備のため土地利用が進んでいない現状である。</p> <p>このことから、本地区のまちづくりの手法については、地区計画による手法や土地区画整理などによるまちづくり手法の検討が必要であるが、費用対効果だけを考えると新規事業の立ち上げは難しい状況である。その他においても、過去の降雨により浸水した経緯もあり浸水対策の検討を併せて行っていく必要がある。</p>						
今年度の取組み	<p>調整池及び貯留施設の有無・規模等を関係機関(国・県)と協議し決定する。また、市内部でも新規事業についての協議を進め、事業立ち上げについての判断をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関事前協議 1式</li> </ul>						

基本事業①

若者・女性・高齢者が活躍できる地域づくり

事業名	No.29 菊川市次世代農業推進事業(雇用)						
担当	建設経済部農林課						
事業概要	地域の担い手へ農地を集積し、機能性に優れた高付加価値野菜を生産するとともに、市民農園や直売所・加工所を併せて整備することで、地域農業の振興拠点の創出を図る。また、その振興拠点において雇用を創出する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	検討	準備等	準備等	実施	
	実績	検討	準備等				
事業指標	指標	内陸フロンティア交流エリアにおける雇用の確保				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		—	—	—	—	3
	実績	—	—	—			
事業実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取り組み法人の設立に向けた検討会の開催：スケジュール確認、圃場整備手法の検討</li> <li>・ 取り組み法人の設立：H28.6.13「株式会社つきの丘」設立</li> <li>・ 地域農業の振興拠点（内陸フロンティア交流エリア）の創出に向けた協議・打合せ 内陸フロンティア県担当協議、現地確認：スケジュール確認、圃場整備手法の検討 測量設計打合せ：随時 地元役員打合せ：随時</li> </ul>						
課題	法人の設立には至ったが、法人としての今後の事業内容や収支計画の精度が低いため、取り組み法人（㈱つきの丘）の体制強化と法人の活動拠点である内陸フロンティア交流エリアの中長期的事業計画の作成を行い、法人の健全な運営と事業の進捗を図ることが必要である。						
今年度の取り組み	雇用創出に向けた、取り組み法人の体制強化と交流エリアの測量、活用計画の作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ㈱つきの丘の農地所有適格法人承認（農業委員会）</li> <li>・ ㈱つきの丘の中心的経営体への位置づけ、内田人・農地プラン更新（菊川市担い手協議会）</li> <li>・ 地域農業の振興拠点創出に向けた地元説明会及び協議</li> <li>・ 交流エリアへの中間管理事業の活用及び中間管理権の設定</li> <li>・ 委託業務の発注（次世代農業推進事業企画委託、次世代農業推進区域測量調査等委託）</li> <li>・ 圃場整備の検討（活用事業の決定、積算）</li> <li>・ 内陸フロンティア区域内におけるエリアごとの実施スケジュール案の作成</li> </ul>						

基本目標 2 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち

基本施策 4 自己実現できるまちづくり

基本事業①

若者・女性・高齢者が活躍できる地域づくり

事業名	No.30 菊川市市民協働センターの設置						
担当	総務部地域支援課						
事業概要	市民活動・地域活動のさらなる活性化と市民協働の推進を目指して、中間支援センターを設置する。センターの運営については、市民目線の柔軟な発想による効果的な運営を図るため、NPO法人等を運営主体とした、「公設民営」方式とする。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	準備等	実施	実施	実施	実施	
	実績	準備等	実施				
事業指標	指標	市民協働センターへの年間相談件数				単位	件
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		センター 開設	40	45	50	55
	実績	—	センター 開設	490			
事業実施結果	<p>さらなる市民活動の活性化と市民協働の推進を目指し、4月15日に市民協働センターを設置。委託業務として下記業務を実施した。</p> <p>①相談窓口による市民活動団体等の支援、②講座の開催による人材育成、③HPの開設、センターだよりの発行による情報収集・発信、④企業訪問等による企業の社会貢献活動の促進、⑤NPO交流会等の開催による市民活動団体等のネットワーク構築。</p> <p>上記実施の結果、年間の相談件数は490件と目標を大幅に上回った。</p>						
課題	<p>開館以来多くの方に利用されている。これは、委託を受けたNPO法人が地域づくり・市民活動等に関する中間支援のニーズを的確に反映し、センターの運営を行った結果である。開設2年目は、より多くの市民の皆様にご利用していただけるようPRを行い、センター運営に努めていく必要がある。また市民協働センターには市民協働を担う多様な主体をつなぐ、ネットワークの構築についても期待をしているが、NPO交流会の参加者数は目標数に達しなかった。</p>						
今年度の取組み	<p>委託業務として本年度も下記業務を実施するとともに、市民からの意見やニーズの把握に努める。</p> <p>①市民活動団体等の支援、②市民協働を実践する人材の育成、③情報収集及び提供、④企業の社会貢献活動の促進、⑤市民活動団体等のネットワークの構築</p> <p>また、本事業の指標「市民協働センターへの年間相談件数」の実績は数値目標を大きく上回っているため、指標を「市民協働センターへの登録団体数」に変更したい。数値目標についてはH29…50団体、H30…55団体、H31…60団体（第2次総合計画の政策指標と同一）。</p>						

基本目標 2 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち

基本施策 4 自己実現できるまちづくり

## 基本事業②

## 健康寿命の延伸

事業名	No.31 +10 でロコモ予防～高齢者への介護予防等の推進～						
担当	健康福祉部長寿介護課						
事業概要	ロコモティブシンドロームを予防し、健康のための一歩を踏み出すために、市民向け講演会・教室を開催し、市民の健康活動を支援する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	検討	実施	実施	実施	
	実績	実施	実施				
事業指標	指標	教室終了後の新規自主グループ数				単位	グループ
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		1	1	1	1	1
	実績	—	2	4			
事業実施結果	<p>2回開催したきくがわ体操体験会へは合計57人が、9月6日に開催した介護予防講演会へは37人が参加した。ロコモ予防教室へは、4コースの合計で72人の参加があった。出前行政講座はロコモ予防関係だけで36件行った。昨年度から始めた地域活動におけるリーダーを養成する筋力アップ応援隊には、20人の参加があった。</p> <p>これにより、ロコモ予防教室から自主グループが1つでき、月2回の運動を行っている。筋力アップ応援隊養成講座からは3つのグループの活動が開始された。</p>						
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>筋力アップ応援隊養成講座をきっかけとした自主グループの活動は、まだ始まったばかりであり、定例会などで継続的に支援を行う必要がある。</li> <li>これからの超高齢社会を考え、地域での活動をより効果的に行うことが出来るよう人材の育成を開始したが、自主活動を始め、継続していくことは、運営方法や実施者のスキル、活動の目的や参加メンバーの自助や共助の意識面など、様々な課題がある。</li> </ul>						
今年度の取組み	<p>筋力アップ応援隊の新規養成と共に、前年度の応援隊員については、今年度もフォローアップをしながら、活動の活性化を目指す。</p> <p>また、外歩きをしながらのノルディックウォークの体験教室を行い、介護予防に取り組んでいただくきっかけを作る。</p>						

## 基本目標 3 時代を先取る菊川型農業モデルの創出

### 基本施策 1

### 儲かる次世代農業モデルの推進

重要業績評価指数	基準値 (H26)	目標値 (H31)
認定農業生産法人の数	16 法人	23 法人
転換作物作付面積	制度なし	15ha

#### 基本事業

- ①付加価値の高い農業モデルの創出 P51
- ②農産物のブランド化 P53
- ③高収益作物との複合経営の推進 P54
- ④耕作放棄地化の未然防止 P56

### 基本施策 2

### 農業女子が輝ける菊川プロジェクト

重要業績評価指数	基準値 (H26)	目標値 (H31)
市内への新規参入女性農業者	—	3人

#### 基本事業

- ①アグリ姫プロジェクト P57
- ②女性が働きやすい環境整備 P59

基本事業①

付加価値の高い農業モデルの創出

事業名	No.32 菊川市次世代農業推進事業(拠点整備)						
担当	建設経済部農林課						
事業概要	地域の担い手へ農地を集積し、機能性に優れた高付加価値野菜を生産するとともに、市民農園や直売所・加工所を併せて整備することで、地域農業の振興拠点の創出を図る。また、幼保園、小学校などに農場を提供し、「食育の場」として活用する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	検討	準備等	準備等	実施	
	実績	検討	準備等				
事業指標	指標	交流エリアにおける露地栽培圃場の確保・施設等の建設				単位	—
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		計画作成	計画作成、 測量・設計	計画調整	基盤整備	施設建設
	実績	耕作 放棄地	計画作成	計画作成、 法人設立			
事業実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取り組み法人の設立に向けた検討会の開催：スケジュール確認、圃場整備手法の検討</li> <li>・ 取り組み法人の設立：H28.6.13「株式会社つきの丘」設立</li> <li>・ 地域農業の振興拠点（内陸フロンティア交流エリア）の創出に向けた協議・打合せ 内陸フロンティア県担当協議、現地確認：スケジュール確認、圃場整備手法の検討 測量設計打合せ、地元役員打合せ：随時</li> </ul>						
課題	法人の設立には至ったが、法人としての今後の事業内容や収支計画の精度が低いため、取り組み法人（株式会社つきの丘）の体制強化と法人の活動拠点である内陸フロンティア交流エリアの中長期的事業計画の作成を行い、法人の健全な運営と事業の進捗を図ることが必要である。						
今年度の取り組み	<p>露地栽培圃場の確保・施設建設に向けた、取り組み法人の体制強化と交流エリアの測量、活用計画作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 株式会社つきの丘の農地所有適格法人承認（農業委員会）</li> <li>・ 株式会社つきの丘の中心的経営体への位置づけ、内田人・農地プラン更新（菊川市担い手協議会）</li> <li>・ 地域農業の振興拠点創出に向けた地元説明会及び協議</li> <li>・ 交流エリアへの中間管理事業の活用及び中間管理権の設定</li> <li>・ 委託業務の発注（次世代農業推進事業企画委託、次世代農業推進区域測量調査等委託）</li> <li>・ 圃場整備の検討（活用事業の決定、積算）</li> <li>・ 内陸フロンティア区域内における各エリアごとの実施スケジュール案の作成</li> </ul>						

基本事業①

付加価値の高い農業モデルの創出

事業名	No.33 新規就農者への積極的な農地あっせん						
担当	建設経済部農林課						
事業概要	地元農業委員などと協力し優良農地の確保に努め、新規就農者等へ積極的にあっせんする。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	実施	実施	実施	実施	実施	
	実績	実施	実施				
事業指標	指標	農地バンク※1 と人・農地プラン※2 の連動した運用				単位	—
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		農地バンク構築	検討	構築	運用開始	運用検証
	実績	—	農地バンク構築	検討			
事業実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地バンクの構築（農業委員会）</li> </ul> <p>※1 農地バンクとは、所有者が管理や耕作できない土地について市が把握し台帳化しておくもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人・農地プランの更新（市：農業振興係）</li> </ul> <p>※2 人・農地プランとは市内の小学校区単位(10地区)で、農地の耕作者を把握するもの。</p>						
課題	農地バンク(農地)と人・農地プラン(人)それぞれの仕組みの構築には至ったが、双方のデータのマッチングなどができていないため、マッチングの仕組みの構築と、農地の所有者(出し手)と担い手(借り手)に対してマッチングの仕組みを周知する方法の検討が必要である。						
今年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地バンクと人・農地プランの同一データ化</li> <li>・農地バンク(農地)と人・農地プラン(人)のマッチングの仕組みの構築</li> <li>・農地の所有者(出し手)と担い手(借り手)への周知方法の検討</li> <li>・農地バンクに登録された農地の情報管理(更新)方法の検討(借り手がいないまま数年経過した場合の現地状況等)</li> <li>・人・農地プランの更新</li> </ul>						

基本事業②

農産物のブランド化

事業名	No.34 地域特産物推進事業						
担当	建設経済部農林課						
事業概要	地域農業の産地化を図るための新作目の生産技術の研究開発や地域特産作物の創設（ブランド化）を行い、菊川市特産作物として発信・推進する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	実施	実施	実施	実施	実施	
	実績	実施	実施				
事業指標	指標	地域特産物のべ開発数				単位	数
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		0	0	0	1	2
	実績	0	0	0			
事業実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ちゃ豆・・・試験栽培、試験販売の実施</li> <li>・ そら豆・・・試験栽培</li> <li>・ オリーブ・・・苗木、台木の確保、栽培圃場の確保、試験栽培</li> <li>・ 高麗人参・・・試験栽培</li> </ul>						
課題	<p>栽培試験は順調に進んでいるため、さらに生産者と圃場を増やすことが急務である。</p> <p>また、取り組んだ作物すべてが特産物になるとは限らないため、新たな推進作物の検討が必要である。</p>						
今年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ちゃ豆・・・①オリジナルパッケージ袋の作成 ②オリジナルパッケージ袋を使用した販売及び取組み生産者の確保 ③PRイベント開催</li> <li>・ そら豆・・・試験栽培、取組み生産者の確保</li> <li>・ オリーブ・・・試験栽培</li> <li>・ 高麗人参・・・試験栽培</li> </ul>						

基本事業③

高収益作物との複合経営の推進

事業名	No.35 転作・営農指導						
担当	建設経済部農林課						
事業概要	転換作物との複合経営に必要な知識や技術の普及や作物転換に必要な圃場の確保を行う。また、それにより耕作放棄地化を未然防止する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	検討	準備等	実施	実施	
	実績	検討	準備等				
事業指標	指標	転換や改良された農地面積				単位	ha
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		—	—	5.0	5.0	5.0
	実績	—	—	—			
事業実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地転換費用軽減支援検討会の開催(支援制度の制定に向け JA や生産者等から意見聴取や調整を実施)</li> <li>・農地転換費用軽減支援事業要綱の作成(茶から高収益作物へ栽培転換するために国(JA窓口)の茶改植等支援事業を活用した農地を対象に、土壌改良等に要した経費を補助する制度)</li> <li>・農地転換費用軽減支援事業の実施に向けた事務取扱書の作成</li> <li>・他の支援事業(茶改植等支援事業)の市内申請状況等の確認</li> </ul>						
課題	<p>国(JA窓口)の改植等支援事業が现阶段では H30 年度以降の実施が未定であるため、実施されない場合の対応を検討する必要がある。</p> <p>さらに JA との調整・連携を深め、栽培転換する収益作物の栽培指導者の確保が必要である。</p>						
今年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地転換費用軽減支援事業の実施</li> <li>・高収益作物の栽培に必要な知識や栽培技術の習得に向けた検討会の開催</li> <li>・JA と連携・協力した栽培講習会・営農指導体制構築に向けた検討</li> <li>・モデルケースとなる取り組みをピックアップする。</li> </ul>						

基本事業③

高収益作物との複合経営の推進

事業名	No.36 転換費用軽減支援						
担当	建設経済部農林課						
事業概要	作物転換に必要な圃場の確保及び転換に係る費用への支援を行う。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	検討	準備等	実施	実施	
	実績	検討	準備等				
事業指標	指標	転換や改良された農地面積				単位	Ha
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		—	—	5.0	5.0	5.0
	実績	—	—	—			
事業実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地転換費用軽減支援検討会の開催(支援制度の制定に向けJAや生産者等から意見聴取や調整を実施)</li> <li>・農地転換費用軽減支援事業要綱の作成(茶から高収益作物へ栽培転換するために国(JA窓口)の茶改植等支援事業を活用した農地を対象に、土壌改良等に要した経費を補助する制度)</li> <li>・農地転換費用軽減支援事業に実施に向けた事務取扱書の作成</li> <li>・他の支援事業(茶改植等支援事業)の市内申請状況等の確認</li> </ul>						
課題	<p>国(JA窓口)の改植等支援事業が現段階ではH30年度以降の実施が未定であるため、実施されない場合の対応を検討する必要がある。</p> <p>さらにJAとの調整・連携を深め、栽培転換する収益作物の栽培指導者の確保が必要である。</p>						
今年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地転換費用軽減支援事業の実施</li> <li>・事業の活用推進に向けた検討会の開催</li> <li>・事業の周知・広報</li> <li>・事業活用者に対する調査を実施し、モデルケースとなる取り組みをピックアップする。</li> </ul>						

基本事業④

耕作放棄地化の未然防止

事業名	No.37 農林技術研究所との連携						
担当	建設経済部農林課						
事業概要	転換作物との複合経営に必要な知識や技術の普及や作物転換に必要な圃場の確保を行う。また、それにより耕作放棄地化を未然防止する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	検討	準備等	実施	実施	
	実績	検討	準備等				
事業指標	指標	転換や改良された農地面積				単位	Ha
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		—	—	5.0	5.0	5.0
	実績	—	—	—			
事業実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作放棄地化の未然防止のための制度制定に向け、農林技術研究所への意見聴取等</li> <li>・制度の構築に向けた中遠農林事務所への相談</li> <li>・農林技術研究所からの資料提供（市内土壌研究資料）</li> <li>・水田耕作者への個別ヒアリング</li> <li>・水田耕作条件改善事業要綱の作成（作業効率を図るために耕作条件を改善する市内水田の耕作者を対象に、畦畔除去及び均平に要する経費を補助する制度）</li> <li>・水田耕作条件改善事業の実施に向けた事務取扱書の作成</li> </ul>						
課題	<p>国および県の耕作放棄地の解消や未然防止に対する事業の動向が不明確なため、情報収集を強化する必要がある。</p> <p>また、農林技術研究所の研究成果については、専門的かつ膨大な研究情報のため、その解析及び市民（生産者等）に対する周知方法を検討する必要がある。</p>						
今年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作放棄地化の未然防止に向け、農林技術研究所への意見聴取等</li> <li>・耕作放棄地化の未然防止に向け、中遠農林事務所への相談</li> <li>・農林技術研究所から提供された資料の解析</li> <li>・水田耕作条件改善事業の実施及び周知</li> <li>・土壌改良に関する調査、データ収集</li> </ul>						

基本目標 3 時代を先取る菊川型農業モデルの創出

基本施策 2 農業女子が輝ける菊川プロジェクト

基本事業①

アグリ姫プロジェクト

事業名	No.38 農林大学校等と連携した女性の就農推進						
担当	建設経済部農林課						
事業概要	農林大学校と連携し、女性の新規就農及び定住を図る。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	準備等	準備等	準備等	実施	
	実績	検討	準備等				
事業指標	指標	新規参入女性農業者の人数				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		—	—	0	1	2
	実績	—	—	—			
事業実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林大学校への取り組み説明</li> <li>・女性の就農推進事業検討会の開催（農林大学校職員が検討会構成員として参加）</li> <li>・市内の農業生産法人のもとで農業に携わっている女性3名から意見聴取</li> <li>・市内で農業経営者として活躍している女性2名から意見聴取</li> <li>・農業女子支援制度の素案作成</li> </ul>						
課題	農業女子受け入れ体制や支援制度が未構築のため、一般女性や農林大学校の生徒を中心とした募集範囲、募集方法を踏まえ、体制づくりと予算計画、財源確保が課題である。						
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業女子受け入れ体制や支援制度の構築に向けた、農林大学校からの意見聴取等</li> <li>・女性の就農支援における検討会実施（年2回開催／次年度以降の計画検討、予算結果報告）</li> <li>・農業女子受け入れ制度の検討・確立（計画・要綱等の整備）</li> <li>・農業女子受け入れから自立までの支援計画の作成</li> <li>・研修生としての受け入れ農家・法人の検討、受け入れ側へのサポート体制の検討</li> <li>・農業女子の役割の検討</li> <li>・予算計画作成</li> </ul>						

基本目標 3 時代を先取る菊川型農業モデルの創出

基本施策 2 農業女子が輝ける菊川プロジェクト

基本事業①

アグリ姫プロジェクト

事業名	No.39 農業女子による情報発信						
担当	建設経済部農林課						
事業概要	女性の新規就農者による情報発信を行い、市の魅力や取り組みを広く周知する。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	準備等	準備等	準備等	実施	
	実績	検討	準備等				
事業指標	指標	新規参入女性農業者の人数				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		—	—	0	1	2
	実績	—	—	—			
事業実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の農業生産法人のもとで農業に携わっている女性3名から意見聴取</li> <li>・市内で農業経営者として活躍している女性2名から意見聴取</li> <li>・女性の就農推進事業検討会の開催（市内の女性農業者についても検討会構成員）</li> <li>・農業女子支援制度の素案作成</li> </ul>						
課題	<p>農業女子受け入れ体制や支援制度が未構築のため、一般女性や農林大学校の生徒を中心とした募集範囲、募集方法を踏まえ、体制づくりと予算計画、財源確保が課題である。</p> <p>また、定住後の農業女子による菊川市のPR内容や方法の検討及び現在市内で活躍する女性農業者を含めたネットワーク構築、情報発信方法の検討が必要である。</p>						
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業女子による菊川市のPR内容、方法の検討</li> <li>・現在市内で活躍する女性農業者を含めたネットワーク構築、情報発信方法の検討</li> <li>・女性の就農支援における検討会実施（年2回開催／次年度以降の計画検討、予算結果報告）</li> <li>・農業女子受け入れ制度の検討・確立（計画・要綱等の整備）</li> <li>・農業女子受け入れから自立までの支援計画の作成</li> <li>・農業女子の役割の検討</li> <li>・予算計画作成</li> </ul>						

基本事業②

女性が働きやすい環境整備

事業名	No.40 圃場環境整備支援事業						
担当	建設経済部農林課						
事業概要	女性が働きやすい圃場整備、作業場整備への支援を行う。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	検討	準備等	実施	実施	
	実績	検討	検討				
事業指標	指標	新規参入女性農業者の人数				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		—	—	0	1	2
	実績	—	—	—			
事業実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の農業生産法人のもとで農業に携わっている女性3名から意見聴取</li> <li>・市内で農業経営者として活躍している女性2名から意見聴取</li> <li>・女性の就農推進事業検討会の開催（市内の女性農業者についても検討会構成員）</li> <li>・農業女子支援制度の素案作成</li> </ul>						
課題	農業女子受け入れ体制や支援制度が未構築のため、一般女性や農林大学校の生徒を中心とした募集範囲、募集方法を踏まえ、体制づくりと予算計画、財源確保が課題である。						
今年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内で活躍する農業女性から圃場環境に関する情報収集</li> <li>・効果的な圃場環境整備支援制度の検討（行政による農地管理の可否、農業女子との貸借契約の可能性、研修生としての受け入れ農家の検討など）</li> <li>・女性の就農支援における検討会実施（年2回開催／次年度以降の計画検討、予算結果報告）</li> <li>・農業女子受け入れ制度の検討・確立（計画・要綱等の整備）</li> </ul>						

基本事業②

女性が働きやすい環境整備

事業名	No.41 作業環境整備支援事業						
担当	建設経済部農林課						
事業概要	女性が働きやすい圃場整備、作業場整備への支援を行う。						
事業計画		H27	H28	H29	H30	H31	
	計画	検討	検討	準備等	実施	実施	
	実績	検討	検討				
事業指標	指標	新規参入女性農業者の人数				単位	人
		H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31
	目標		—	—	0	1	2
	実績	—	—	—			
事業実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の農業生産法人のもとで農業に携わっている女性3名から意見聴取</li> <li>・市内で農業経営者として活躍している女性2名から意見聴取</li> <li>・女性の就農推進事業検討会の開催（市内の女性農業者についても検討会構成員）</li> <li>・農業女子支援制度の素案作成</li> </ul>						
課題	農業女子受け入れ体制や支援制度が未構築のため、一般女性や農林大学校の生徒を中心とした募集範囲、募集方法を踏まえ、体制づくりと予算計画、財源確保が課題である。						
今年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内で活躍する農業女性から作業環境に関する情報収集</li> <li>・効果的な作業環境整備支援制度の検討</li> <li>・女性の就農支援における検討会実施（年2回開催／次年度以降の計画検討、予算結果報告）</li> <li>・農業女子受け入れ制度の検討・確立（計画・要綱等の整備）</li> <li>・農業女子受け入れから自立までの支援計画の作成</li> </ul>						



平成 28 年度  
菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
進捗状況報告書

発行

菊川市 企画財政部 企画政策課  
〒439-8650 静岡県菊川市堀之内 61 番地  
(TEL) 0537-35-0900 (FAX) 0537-35-2117  
E-mail : kikaku@city.kikugawa.shizuoka.jp